

IV 水質汚濁の状況

1 公共用水域の水質汚濁の概要

(1) 公共用水域の監視

表IV-1のとおり、県、国土交通省及び政令市（静岡市、浜松市、沼津市、富士市）が、水質汚濁防止法第16条に規定する公共用水域の水質測定計画に基づき、河川117地点、湖沼5地点、海域58地点の計180地点において監視した。

表IV-1 令和元年度水質測定計画地点総括表

番号	水 域 名	測 定 地 点 数	環 境 基 準 点	補 助 地 点	その他	調査担当機関
1	伊豆水域（河川、湖沼）	11	6	3	2	静岡県
2	伊豆沿岸水域（海域）	11	11	—	—	静岡県、沼津市
3	鮎沢川水域（河川）	2	2	—	—	静岡県
4	狩野川水域（河川）	13	10	2	1	国土交通省、静岡県
5	田子の浦水域（河川）	13	4	2	7	静岡県、沼津市、富士市
6	富士川水域（河川、湖沼）	5	3	1	1	国土交通省、静岡県
7	奥駿河湾水域（河川）	10	4	1	5	静岡市、沼津市
8	奥駿河湾水域（海域）	18	18	—	—	静岡県、静岡市、沼津市、富士市
9	西駿河湾水域（海域）	11	11	—	—	静岡県、静岡市
10	静岡水域（河川）	6	5	—	1	国土交通省、静岡市
11	志太水域（河川）	8	6	1	1	静岡県
12	大井川水域（河川）	5	3	—	2	国土交通省、静岡県
13	榛南小笠水域（河川）	13	7	2	4	国土交通省、静岡県
14	太田川水域（河川）	10	7	2	1	静岡県
15	天竜川水域（河川、湖沼）	8	3	1	4	国土交通省、浜松市
16	馬込川水域（河川）	3	2	—	1	浜松市
17	浜名湖水域 （河川、湖沼、海域）	26	12	6	8	静岡県、浜松市
18	梅田川水域（河川）	1	—	—	1	静岡県
19	遠州灘水域（海域）	6	6	—	—	静岡県、浜松市
合計	河 川	117	64	16	37	
	湖 沼	5	2	1	2	
	海 域	58	54	4	0	
	計	180	120	21	39	

- (注) 1 環境基準点は、水域における利水目的等を勘案して、その水域の水質汚濁状況が把握できる地点。
 2 補助地点は、環境基準点を補完するため、比較的総延長の長い河川、水域面積の大きい湖沼、海域について測定する地点。
 3 その他地点
 ・今後、類型指定を行う必要があると考えられる水域について、基礎資料を得るために測定する地点。
 ・水質汚濁が進行するおそれのある水域について測定する地点。

各測定地点における測定項目は、人の健康の保護に関する環境基準に定める項目（以下「健康項目」という。）及び生活環境の保全に関する環境基準に定める項目（以下「生活環境項目」という。）等から水域の特色に応じて選定した。

(2) 環境基準

水質汚濁に係る環境基準には、表IV-2に示す人の健康の保護に関する環境基準及び表IV-3に示す生活環境の保全に関する環境基準の2つがある。

人の健康の保護に関する環境基準は、全ての公共用水域において同一の基準が適用される。

生活環境の保全に関する環境基準は、河川、湖沼、海域ごとに、利水目的に応じた類型を指定することにより適用される基準であり、本県では、河川については42河川に、湖沼については2湖沼に、海域については沿岸の全域に定めている。

また、佐久間ダム貯水池（図IV-1-（1））については全燐、浜名湖（図IV-1-（2））には全窒素及び全燐に係る基準を定めている。

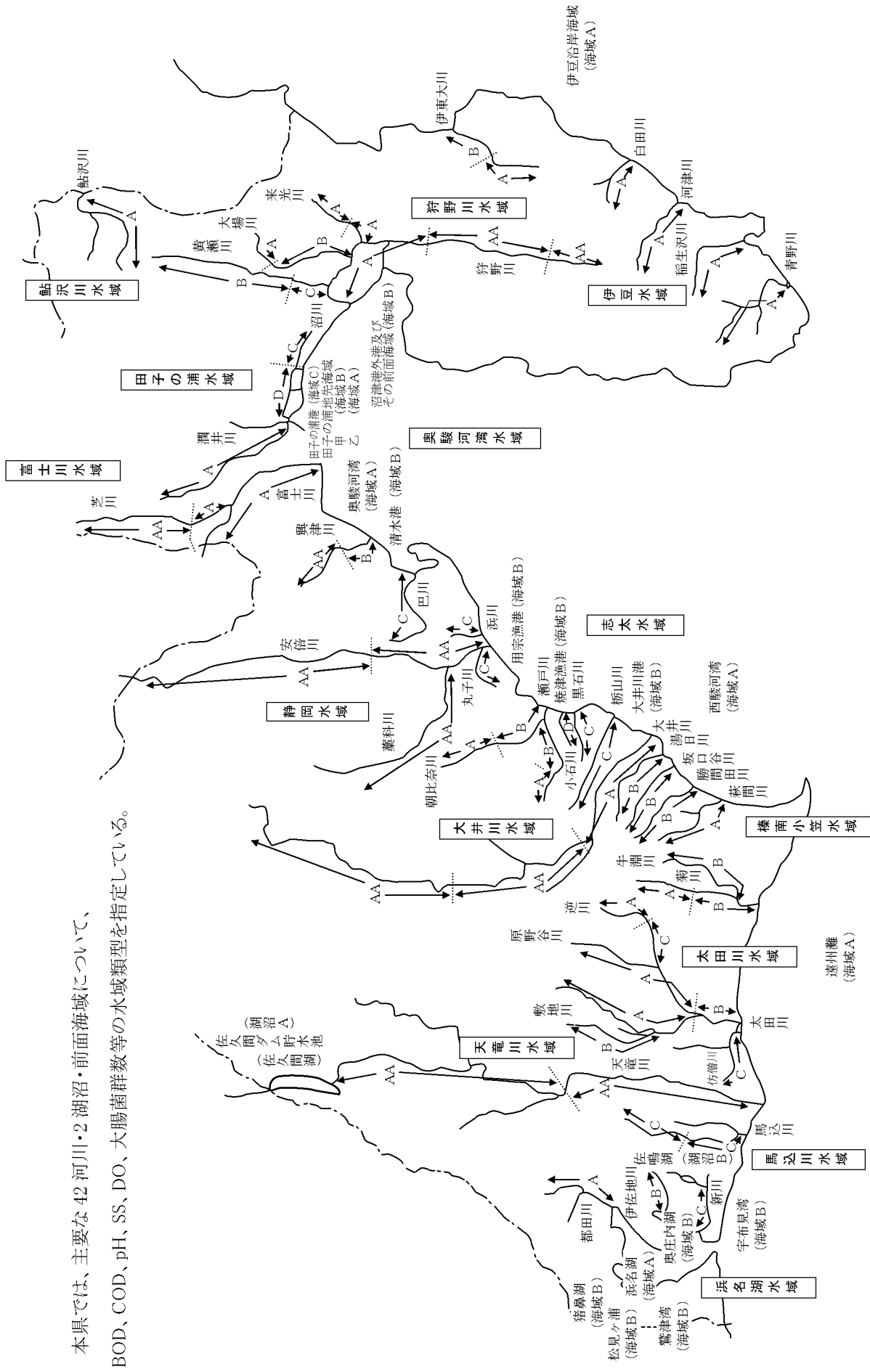
水生生物保全のための環境基準は、令和元年度の時点で42河川、2湖沼及び浜名湖に定めている。

表IV-2 人の健康の保護に関する環境基準

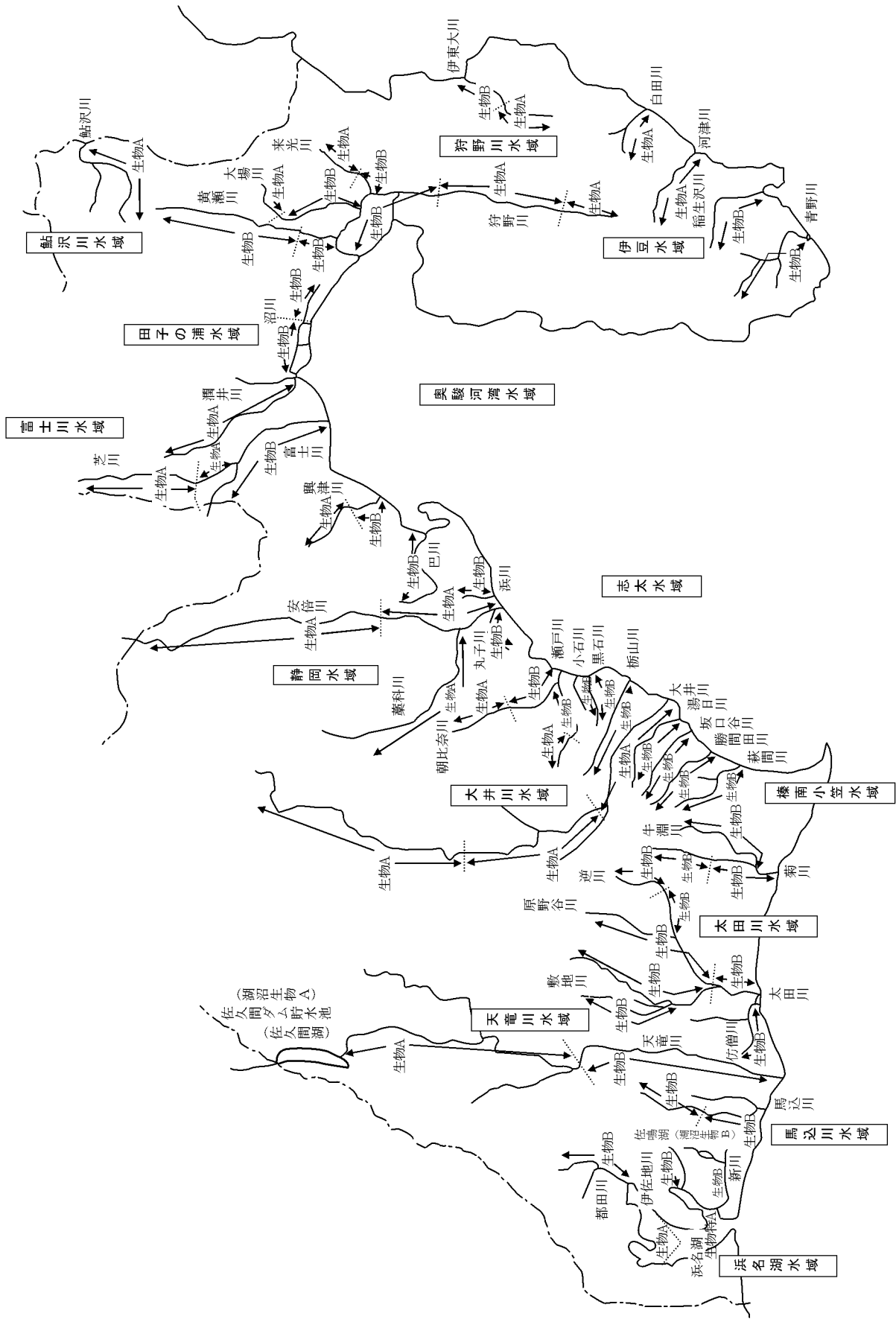
項 目	基 準 値	項 目	基 準 値
カドミウム	0.003 mg/L以下	1,1,2-トリクロロエタン	0.006 mg/L以下
全シアン	検出されないこと。	トリクロロエチレン	0.01 mg/L以下
鉛	0.01 mg/L以下	テトラクロロエチレン	0.01 mg/L以下
六価クロム	0.05 mg/L以下	1,3-ジクロロプロペン	0.002 mg/L以下
砒素	0.01 mg/L以下	チウラム	0.006 mg/L以下
総水銀	0.0005mg/L以下	シマジン	0.003 mg/L以下
アルキル水銀	検出されないこと。	チオベンカルブ	0.02 mg/L以下
P C B	検出されないこと。	ベンゼン	0.01 mg/L以下
ジクロロメタン	0.02 mg/L以下	セレン	0.01 mg/L以下
四塩化炭素	0.002 mg/L以下	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	10 mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	0.004 mg/L以下	ふっ素	0.8 mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1 mg/L以下	ほう素	1 mg/L以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/L以下	1,4-ジオキサソ	0.05 mg/L以下
1,1,1-トリクロロエタン	1 mg/L以下		

- (注) 1 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。
- 2 「検出されないこと」とは、定められた測定方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。別表IV-3において同じ。
- 3 海域については、ふっ素及びほう素の基準値は適用しない。
- 4 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度は、日本産業規格 K0102 43.2.1、43.2.3、43.2.5 又は 43.2.6 により測定された硝酸イオンの濃度に換算係数 0.2259 を乗じたものと同規格 43.1 により測定された亜硝酸イオンの濃度に換算係数 0.3045 を乗じたものの和とする。

本県では、主要な42河川・2湖沼・2前面海域について、BOD、COD、pH、SS、DO、大腸菌群数等の水域類型を指定している。



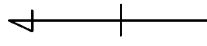
図IV-1-1(1) 一般項目 (BOD、COD 等) に係る水域類型



図IV-1-1-(2) 水生生物保全項目(全亜鉛・ノニルフェノール・LAS)に係る水域類型

138 猪鼻湖 海域Ⅲ

浜名湖水域(海域)



136 白洲 海域Ⅲ

135 新所 海域Ⅲ

133 湖心 海域Ⅲ

浜名湖(ロ) 海域Ⅲ

浜名湖(ハ) 海域Ⅲ

142 新場 海域Ⅱ

139 新居 海域Ⅱ

浜名湖(イ) 海域Ⅱ

140 雄踏 海域Ⅲ

— 浜名湖(イ) —
 A地点(今切口の東導流堤の基部…浜松市西区舞阪町舞阪)とB地点(今切口の西導流堤の基部…湖西市新居町新居)を結んだ直線、C地点(富士紡三角点(湖西市鷺津))とD地点(御産橋の南端(浜松市西区村櫛町))を結んだ直線、E地点(浜松市西区村櫛町字臨海 5534 番地の東南端)とF地点(浜松市西区舞阪町舞阪字十王 2697 番地のIの北端)を結んだ直線及び陸岸により囲まれた海域

— 浜名湖(ロ) —
 C地点とD地点を結んだ直線及び陸岸により囲まれた海域

— 浜名湖(ハ) —
 E地点とF地点を結んだ直線及び陸岸により囲まれた海域

図IV-1-1-(3) 一般項目(全窒素・全磷)に係る水域類型

表IV-3 生活環境の保全に関する環境基準

ア 河川

a

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン 濃度 (pH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
AA	水道1級 自然環境保全及びA以下の欄 に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	50MPN /100mL以下
A	水道2級 水産1級 水浴及びB以下の欄に 掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	1,000MPN /100mL以下
B	水道3級 水産2級 及びC以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3mg/L以下	25mg/L以下	5mg/L以上	5,000MPN /100mL以下
C	水道3級 工業用水1級及びD以下の欄 に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5mg/L以下	50mg/L以下	5mg/L以上	—
D	工業用水2級 農業用水 及びEの欄に掲げるもの	6.0以上 8.5以下	8mg/L以下	100mg/L以下	2mg/L以上	—
E	工業用水3級 環境保全	6.0以上 8.5以下	10mg/L以下	ごみ等の浮遊 が認められないこと。	2mg/L以上	—

- (注) 1 基準値は、日間平均値とする。
 2 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
 3 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 水道2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
 水道3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
 4 水産1級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
 水産2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
 水産3級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用
 5 工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
 工業用水2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
 工業用水3級：特殊な浄水操作を行うもの
 6 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

b

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値		
		全 亜 鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベン ゼンスルホン酸及 びその塩
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下	0.001mg/L以下	0.03mg/L以下
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L以下	0.0006mg/L以下	0.02mg/L以下
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下	0.002mg/L以下	0.05mg/L以下
生物特B	生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L以下	0.002mg/L以下	0.04mg/L以下

(注) 基準値は、年間平均値とする。

イ 湖沼（天然湖沼及び貯水量1,000万立方メートル以上であり、かつ水の滞留時間が4日間以上の人工湖）

a

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン 濃度 (pH)	化学的 酸素要求量 (COD)	浮遊物質 量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
AA	水道1級 水産1級 自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/L以下	1mg/L以下	7.5mg/L以上	50MPN /100mL以下
A	水道2、3級 水産2級 水浴及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3mg/L以下	5mg/L以下	7.5mg/L以上	1,000MPN /100mL以下
B	水産3級 工業用水1級 農業用水 及びCの欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5mg/L以下	15mg/L以下	5mg/L以上	—
C	工業用水2級 環境保全	6.0以上 8.5以下	8mg/L以下	ごみ等の浮遊が認められないこと。	2mg/L以上	—

- (注) 1 基準値は、日間平均値とする。
 2 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
 3 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 水道2、3級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作、又は、前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
 4 水産1級：ヒメマス等貧栄養湖型の水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用水
 水産2級：サケ科魚類及びアユ等貧栄養湖型の水域の水産生物用並びに水産3級の水産生物用水
 水産3級：コイ、フナ等富栄養湖型の水域の水産生物用
 5 工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
 工業用水2級：薬品注入等による高度の浄水操作、又は、特殊な浄水操作を行うもの
 6 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度
 7 水産1級、2級及び3級については、当分の間、浮遊物質の項目の基準値は適用しない。

b

項目 類型	利用目的の適応性	基準値	
		全窒素	全磷
I	自然環境保全及びII以下の欄に掲げるもの	0.1mg/L以下	0.005mg/L以下
II	水道1、2、3級（特殊なものを除く。） 水産1種 水浴及びIII以下の欄に掲げるもの	0.2mg/L以下	0.01mg/L以下
III	水道3級（特殊なもの）及び IV以下の欄に掲げるもの	0.4mg/L以下	0.03mg/L以下
IV	水産2種及びVの欄に掲げるもの	0.6mg/L以下	0.05mg/L以下
V	水産3種 工業用水 農業用水 環境保全	1mg/L以下	0.1mg/L以下

- (注) 1 基準値は、年間平均値とする。
 2 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
 3 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 水道2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
 水道3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの（「特殊なもの」とは、臭気物質の除去が可能な特殊な浄水操作を行うものをいう。）
 4 水産1種：サケ科魚類及びアユ等の水産生物用並びに水産2種及び水産3種の水産生物用水
 水産2種：ワカサギ等の水産生物用及び水産3種の水産生物用水
 水産3種：コイ、フナ等の水産生物用水
 5 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度
 6 農業用水については、全磷の項目の基準値は適用しない。

C

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値		
		全 亜 鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下	0.001mg/L以下	0.03mg/L以下
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L以下	0.0006mg/L以下	0.02mg/L以下
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下	0.002mg/L以下	0.05mg/L以下
生物特B	生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L以下	0.002mg/L以下	0.04mg/L以下

(注) 基準値は、年間平均値とする。

ウ 海域

a

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)
A	水産1級水浴、自然環境保全及びB以下の欄に掲げるもの	7.8以上 8.3以下	2mg/L以下	7.5mg/L以上	1,000MPN/100mL以下	検出されないこと。
B	水産2級工業用水及びCの欄に掲げるもの	7.8以上 8.3以下	3mg/L以下	5mg/L以上	—	検出されないこと。
C	環境保全	7.0以上 8.3以下	8mg/L以下	2mg/L以上	—	—

(注) 1 基準値は、日間平均値とする。

2 自然環境保全：自然探勝等の環境保全

3 水産1級：マダイ、ブリ、ワカメ等の水産生物用及び水産2級の水産生物用

水産2級：ボラ、ノリ等の水産生物用

4 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

5 水産1級のうち、生食用原料カキの養殖の利水点については、大腸菌群数70MPN/100mL以下とする。

b

項目 類型	利用目的の適応性	基準値	
		全窒素	全燐
I	自然環境保全及びII以下の欄に掲げるもの（水産2種及び3種を除く。）	0.2mg/L以下	0.02mg/L以下
II	水産1種水浴及びIII以下の欄に掲げるもの（水産2種及び3種を除く。）	0.3mg/L以下	0.03mg/L以下
III	水産2種及びIVの欄に掲げるもの（水産3種を除く。）	0.6mg/L以下	0.05mg/L以下
IV	水産3種工業用水生物生息環境保全	1mg/L以下	0.09mg/L以下

(注) 1 基準値は、年間平均値とする。

2 自然環境保全：自然探勝等の環境保全

3 水産1種：底生魚介類を含め多様な水産生物がバランス良く、かつ安定して漁獲される

水産2種：一部の底生魚介類を除き、魚類を中心とした水産生物が多獲される

水産3種：汚濁に強い特定の水産生物が主に漁獲される

4 生物生息環境保全：年間を通して底生生物が生息できる限度

c

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値		
		全 亜 鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩
生物A	水生生物の生息する水域	0.02mg/L 以下	0.001mg/L 以下	0.01mg/L 以下
生物特A	生物Aの水域のうち、水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.01mg/L 以下	0.0007mg/L 以下	0.006mg/L 以下

(注) 基準値は、年間平均値とする。

(3) 環境基準の達成状況

ア 健康項目

健康項目については、河川、湖沼及び海域の134地点（河川103地点、湖沼5地点、海域26地点）で測定した結果、全ての測定地点の全ての項目で環境基準を達成した。

表IV-4 健康項目に関する環境基準達成状況

【河川】

項目	達成測定地点数／測定地点数	達成率 (%)	未達成測定地点
カドミウム	78／78	100	—
全シアン	72／72	100	—
鉛	83／83	100	—
六価クロム	72／72	100	—
砒素	78／78	100	—
総水銀	78／78	100	—
アルキル水銀	—	—	—
P C B	22／22	100	—
ジクロロメタン	87／87	100	—
四塩化炭素	85／85	100	—
1,2-ジクロロエタン	85／85	100	—
1,1-ジクロロエチレン	85／85	100	—
シス-1,2-ジクロロエチレン	85／85	100	—
1,1,1-トリクロロエタン	85／85	100	—
1,1,2-トリクロロエタン	85／85	100	—
トリクロロエチレン	85／85	100	—
テトラクロロエチレン	85／85	100	—
1,3-ジクロロプロペン	85／85	100	—
チウラム	85／85	100	—
シマジン	85／85	100	—
チオベンカルブ	85／85	100	—
ベンゼン	85／85	100	—
セレン	99／99	100	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	100／100	100	—
ふっ素	99／99	100	—
ほう素	99／99	100	—
1,4-ジオキサン	75／75	100	—

- (注) 1 環境基準の達成は、年間平均値で評価する。ただし、全シアンについては、最高値で評価する。
- 2 ほう素については 99 測定地点中、6 地点（稲生沢川新下田橋、弁財天川末端、太田川豊浜橋、仿僧川東橋、新川志都呂橋、釣橋川三代橋）、ふっ素については 99 測定地点中、1 地点（弁財天川末端）で環境基準を超過したが、これらの地点は海水の影響を強く受けて環境基準を超過しているため、評価の対象から除外した。

【湖沼】

項 目	達成測定地点数／測定地点数	達成率 (%)	未達成測定地点
カドミウム	3 / 3	100	—
全シアン	3 / 3	100	—
鉛	3 / 3	100	—
六価クロム	3 / 3	100	—
砒素	3 / 3	100	—
総水銀	3 / 3	100	—
アルキル水銀	—	—	—
PCB	2 / 2	100	—
ジクロロメタン	3 / 3	100	—
四塩化炭素	3 / 3	100	—
1,2-ジクロロエタン	3 / 3	100	—
1,1-ジクロロエチレン	3 / 3	100	—
シス-1,2-ジクロロエチレン	3 / 3	100	—
1,1,1-トリクロロエタン	3 / 3	100	—
1,1,2-トリクロロエタン	3 / 3	100	—
トリクロロエチレン	3 / 3	100	—
テトラクロロエチレン	3 / 3	100	—
1,3-ジクロロプロペン	3 / 3	100	—
チウラム	3 / 3	100	—
シマジン	3 / 3	100	—
チオベンカルブ	3 / 3	100	—
ベンゼン	3 / 3	100	—
セレン	3 / 3	100	—
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	5 / 5	100	—
ふっ素	3 / 3	100	—
ほう素	3 / 3	100	—
1,4-ジオキサン	2 / 2	100	—

- (注) 1 環境基準の達成は、年間平均値で評価する。ただし、全シアンについては、最高値で評価する。
- 2 ほう素については 3 測定地点中、1 地点（佐鳴湖出口拓希橋）で環境基準を超過したが、この地点は海水の影響を強く受けて環境基準を超過しているため、評価の対象から除外した。

【海域】

項 目	達成測定地点数／測定地点数	達成率 (%)	未達成測定地点
カドミウム	19 / 19	100	—
全シアン	7 / 7	100	—
鉛	19 / 19	100	—

項 目	達成測定地点数／測定地点数	達成率 (%)	未達成測定地点
六 価 ク ロ ム	19 / 19	100	—
砒 素	17 / 17	100	—
総 水 銀	19 / 19	100	—
ア ル キ ル 水 銀	—	—	—
P C B	2 / 2	100	—
ジ ク ロ ロ メ タ ン	19 / 19	100	—
四 塩 化 炭 素	19 / 19	100	—
1, 2-ジクロロエタン	19 / 19	100	—
1, 1-ジクロロエチレン	19 / 19	100	—
シス-1, 2-ジクロロエチレン	19 / 19	100	—
1, 1, 1-トリクロロエタン	19 / 19	100	—
1, 1, 2-トリクロロエタン	19 / 19	100	—
トリクロロエチレン	19 / 19	100	—
テトラクロロエチレン	19 / 19	100	—
1, 3-ジクロロプロペン	19 / 19	100	—
チ ウ ラ ム	19 / 19	100	—
シ マ ジ ン	19 / 19	100	—
チ オ ベ ン カ ル ブ	19 / 19	100	—
ベ ン ゼ ン	19 / 19	100	—
セ レ ン	19 / 19	100	—
硝 酸 性 窒 素 及 び 亜 硝 酸 性 窒 素	26 / 26	100	—
ふ つ 素	—	—	—
ほ う 素	—	—	—
1, 4-ジオキサン	19 / 19	100	—

(注) 1 海域における環境基準の達成は、全層の年間平均値（浜名湖は上層と中層の平均値）で評価する。ただし、全シアンについては、最高値で評価する。

2 「ふっ素」及び「ほう素」は自然状態において海水に相当程度含まれていることから海域については、環境基準は適用されない。

イ 生活環境項目

生活環境の保全に関する項目のBOD、CODの環境基準の達成については、河川は64地点中、全ての地点で達成し、達成率は100%となった（平成30年度は100%）。

湖沼は、2地点のうち1地点（佐鳴湖出口拓希橋）で達成せず、達成率は50%となった（平成30年度は50%）。

海域は、54地点中、7地点（下田港港中央、戸田漁港港中央、石部沖、焼津漁港沖、栃山川沖、勝間田川沖、御前崎港港中央）で達成せず、達成率は87%となった（平成30年度は96%）。

浜名湖における全窒素及び全リンの環境基準については、全窒素は、1地点（浜名湖（ハ））で達成せず、達成率は66%となった（平成30年度は100%）、全リンは、全地点で達成し、達成率は100%となった（平成30年度は66%）（表IV-5）。また、佐久間ダム貯水池では全リンについて平成30年度と同様達成した。

水生生物の保全に係る水質環境基準のうち、全亜鉛については、1地点（逆川曙橋）で達成しなかったが、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（以下「LAS」という。）

及びノニルフェノールは、類型の当てはめられている 42 河川（延べ 59 類型）、2 湖沼（2 類型）、浜名湖（2 類型）全てで環境基準を達成した。

（注）環境基準の達成状況の評価について

環境基準類型指定水域の環境基準の達成は環境省が示している基準に則り判断する。BOD（河川）又はCOD（湖沼、海域）については75%値により、水生生物保全環境基準については年間平均値により行い、いずれも水域内の環境基準点（複数の環境基準点がある場合はその全て）において、その値が適合しているとき、達成とした（75%値：年間n個の日間平均値を小さいものから並べたとき、 $0.75 \times n$ 番目の数値）。

また、佐久間ダム貯水池の全磷と浜名湖の全窒素及び全磷に係る環境基準については、表層（上層）の年間平均値を水域内の全ての環境基準点について平均した値が適合しているとき、達成とした。

表IV-5 生活環境の保全に関する環境基準達成状況

河 川 (BOD)

(測定地点数は環境基準点の数)

水域類型	令和元年度			平成30年度
	達成測定地点数 ／測定地点数	達成測定地点	未達成測定地点	達成測定地点数 ／測定地点数
AA 1 mg/L 以下	11 / 11	安倍川 曙橋、 大井川 下泉橋、 天竜川 鹿島橋 等	—	11 / 11
A 2 mg/L 以下	25 / 25	富士川 富士川橋、 大井川 富士見橋、 太田川 二瀬橋 等	—	25 / 25
B 3 mg/L 以下	13 / 13	黄瀬川 あゆつぼの滝、 興津川 浦安橋、 菊川 国安橋 等	—	13 / 13
C 5 mg/L 以下	13 / 13	黄瀬川 黄瀬川橋、 沼川 井出六橋、 馬込川 茄子橋 等	—	13 / 13
D 8 mg/L 以下	2 / 2	沼川 沼川新橋、 小石川 八雲橋	—	2 / 2
E 10 mg/L 以下	—	—	—	—
合 計	64 / 64	64	0	64 / 64
達成率	100%	—	—	100%

湖 沼 (COD)

(測定地点数は環境基準点の数)

水域類型	令和元年度			平成30年度
	達成測定地点数 ／測定地点数	達成測定地点	未達成測定地点	達成測定地点数 ／測定地点数
A 3 mg/L 以下	1 / 1	佐久間ダム貯水池 ダムサイト	—	1 / 1
B 5 mg/L 以下	0 / 1	—	佐鳴湖出口拓希橋	0 / 1
合 計	1 / 2	1	1	1 / 2
達成率	50%	—	—	50%

海 域 (COD)

(測定地点数は環境基準点の数)

水域類型	令和元年度			平成30年度
	達成測定地点数 ／測定地点数	達成測定地点	未達成測定地点	達成測定地点数 ／測定地点数
A 2mg/L以下	30 / 37	伊豆沿岸水域(9) 奥駿河湾水域(10) 西駿河湾水域(2) 浜名湖水域(3) 遠州灘水域(6)	下田港港中央、戸田漁港 港中央、石部沖、焼津漁 港沖、栃山川沖、勝間田 川沖、御前崎港港中央	35 / 37
B 3mg/L以下	14 / 14	奥駿河湾水域(5) 西駿河湾水域(4) 浜名湖水域(5)	—	14 / 14
C 8mg/L以下	3 / 3	奥駿河湾水域(3)	—	3 / 3
合計	47 / 54	47	7	52 / 54
達成率	87%	—	—	96%

(注) 浜名湖では表層(0.5m)と中層又は下層(2m)2測点の平均値の75%値で評価する。

湖 沼 (全磷)

(測定地点数は環境基準点の数)

水域類型	令和元年度			平成30年度
	達成測定地点数 ／測定地点数	達成測定地点	未達成測定地点	達成測定地点数 ／測定地点数
IV	1 / 1	佐久間ダム貯水池 ダムサイト	—	1 / 1
達成率	100%	—	—	100%

(注) 湖沼における全窒素及び全磷の環境基準の達成状況は、環境基準点において表層(上層)の年間平均値が類型の環境基準に適合している場合に環境基準を達成しているものとする。

海 域 (全窒素)

水域類型	令和元年度			平成30年度
	達成測定水域数 ／測定水域数	達成測定水域	未達成測定水域	達成測定水域数 ／測定水域数
II	1 / 1	浜名湖(i)	—	1 / 1
III	1 / 2	浜名湖(o)	浜名湖(h)	2 / 2
合計	2 / 3	2	1	3 / 3
達成率	66%	—	—	100%

海 域 (全磷)

水域類型	令和元年度			平成30年度
	達成測定水域数 ／測定水域数	達成測定水域	未達成測定水域	達成測定水域数 ／測定水域数
II	1 / 1	浜名湖(i)	—	1 / 1
III	2 / 2	浜名湖(o)、浜名湖(h)	—	1 / 2
合計	3 / 3	3	0	2 / 3
達成率	100%	—	—	66%

(注) 1 浜名湖(i)とは、A地点(今切口の東導流堤の基部…浜松市西区舞阪町舞阪官有無番地)とB地点(今切口の西導流堤の基部…湖西市新居町新居官有無番地)を結んだ直線、C地点(湖

西市鷺津字大畑ケ 2499 番地の 9) と D 地点 (浜松市西区村楠町 4226 番地の 51) を結んだ直線、 E 地点 (浜松市西区村楠町 5534 番地) と F 地点 (浜松市西区舞阪町舞阪字十王 2697 番地の 1) を結んだ直線及び陸岸により囲まれた海域。

- 2 浜名湖(ロ)とは、 C 地点と D 地点を結んだ直線及び陸岸により囲まれた海域。
- 3 浜名湖(ハ)とは、 E 地点と F 地点を結んだ直線及び陸岸により囲まれた海域。
- 4 海域における全窒素及び全リンの環境基準の達成状況は環境基準点において、表層 (上層) の年間平均値が当てはめられた類型の環境基準に適合している場合に、環境基準を達成しているものと評価する。複数の環境基準点が存在する水域は各環境基準点の表層 (上層) の年間平均値を平均した値で評価する。

河 川 (全亜鉛)

(測定地点数は環境基準点の数)

水域類型	令和元年度			平成 30 年度
	達成測定地点数 ／測定地点数	達成測定地点	未達成 測定地点	達成測定地点数 ／測定地点数
生物 A	23 / 23	伊豆水域(3)、鮎沢川水域(2)、狩野川 水域(4)、田子の浦水域(2)、富士川水域(2)、奥駿河湾水域(1)、静岡水域(3)、志太水域(2)、大井川水域(3)、天竜川水域(1)	—	23 / 23
生物特 A	—	—	—	—
生物 B	40 / 41	伊豆水域(3)、狩野川水域(6)、田子の浦水域(2)、富士川水域(1)、奥駿河湾水域(3)、静岡水域(2)、志太水域(4)、榛南小笠水域(7)、太田川水域(6)、天竜川水域(1)、馬込川水域(2)、浜名湖水域(3)	逆川曙橋	41 / 41
生物特 B	—	—	—	—
合 計	63 / 64	63	1	64 / 64
達成率	98%	—	—	100%

湖 沼 (全亜鉛)

水域類型	令和元年度			平成 30 年度
	達成測定地点数 ／測定地点数	達成測定地点	未達成 測定地点	達成測定地点数 ／測定地点数
生物 A	1 / 1	佐久間ダム貯水池ダムサイト	—	1 / 1
生物特 A	—	—	—	—
生物 B	1 / 1	佐鳴湖出口拓希橋	—	1 / 1
生物特 B	—	—	—	—
合 計	2 / 2	2	0	2 / 2
達成率	100%	—	—	100%

海 域 (全亜鉛)

水域類型	令和元年度			平成 30 年度
	達成測定地点数 ／測定地点数	達成測定地点	未達成 測定地点	達成測定地点数 ／測定地点数
生物 A	3 / 3	浜名湖 (湖心、松見ヶ浦、猪鼻湖)	—	3 / 3
生物特 A	5 / 5	浜名湖 (新所、新居、鷺津、白洲、塩田)	—	5 / 5
生物 B	—	—	—	—
生物特 B	—	—	—	—
合 計	8 / 8	8	0	8 / 8
達成率	100%	—	—	100%

河 川 (ノニルフェノール、LAS)

(測定地点数は環境基準点の数)

水域類型	令和元年度			平成 30 年度
	達成測定地点数 ／測定地点数	達成測定地点	未達成 測定地点	達成測定地点数 ／測定地点数
生物 A	23 / 23	伊豆水域(3)、鮎沢川水域(2)、狩野川 水域(4)、田子の浦水域(2)、富士川水域(2)、奥駿河湾水域(1)、静岡水域(3)、志太水域(2)、大井川水域(3)、天竜川水域(1)	—	23 / 23
生物特 A	—	—	—	—
生物 B	41 / 41	伊豆水域(3)、狩野川水域(6)、田子の浦水域(2)、富士川水域(1)、奥駿河湾水域(3)、静岡水域(2)、志太水域(4)、榛南小笠水域(7)、太田川水域(7)、天竜川水域(1)、馬込川水域(2)、浜名湖水域(3)	—	41 / 41
生物特 B	—	—	—	—
合 計	64 / 64	64	0	64 / 64
達成率	100%	—	—	100%

湖 沼（ノニルフェノール、LAS）

水域類型	令和元年度			平成30年度
	達成測定地点数 ／測定地点数	達成測定地点	未達成 測定地点	達成測定地点数 ／測定地点数
生物A	1／1	佐久間ダム貯水池ダムサイト	—	1／1
生物特A	—	—	—	—
生物B	1／1	佐鳴湖出口拓希橋	—	1／1
生物特B	—	—	—	—
合 計	2／2	2	0	2／2
達成率	100%	—	—	100%

海 域（ノニルフェノール、LAS）

水域類型	令和元年度			平成30年度
	達成測定地点数 ／測定地点数	達成測定地点	未達成 測定地点	達成測定地点数 ／測定地点数
生物A	3／3	浜名湖（湖心、松見ヶ浦、猪鼻湖）	—	3／3
生物特A	5／5	浜名湖（新所、新居、鷺津、白洲、塩田）	—	5／5
生物B	—	—	—	—
生物特B	—	—	—	—
合 計	8／8	8	0	8／8
達成率	100%	—	—	100%

(4) 水質の現況と推移

ア 水質の現況

(ア) 河川

AA～Dの環境基準類型を設定している河川（42河川、64地点）のうち、水浴に適し、アマゴやイワナ等の水産物の生息に適する水質のBOD 2mg/L以下（A類型相当：75%値で評価）の測定地点（環境基準点）は58地点で、全体の90%を占めた。

Aユ等の生息に適する水質であるBOD 3mg/L以下（B類型相当：75%値で評価）の測定地点は、63地点で、全体の98%を占めた（表IV-6-(1)）。

(イ) 湖沼

A、Bの環境基準類型を設定している湖沼（2湖沼、2地点）のうち、佐鳴湖出口拓希橋では依然としてCOD値が8.1mg/L（75%値）と高かった（表IV-6-(3)）。

(ウ) 海域

A～Cの環境基準類型を設定している海域（54地点）のうち、水浴に適し、マダイ、ブリ等の水産物の生息に適する水質のCOD 2mg/L以下（A類型相当：75%値で評価）を示した測定地点は、37地点で全体の68%を占めた。（表IV-6-(6)）

表IV-6-(1) 河川の測定地点（環境基準点）の水質汚濁状況（BOD：mg/L）

水域名	地点 番号	測定地点名	類 型	X/Y	75%値	平均値	日間平均値 の範囲	(参考) H30年度 75%値	
伊豆	伊東大川上流	1	伊東大川八代田橋	A	0/12	0.9	0.8	<0.5~1.4	0.9
	伊東大川下流	2	伊東大川渚橋	B	1/12	1.0	1.5	<0.5~8.9	1.3
	河津川	3	河津川館橋	A	0/12	0.8	0.7	<0.5~1.1	0.6
	稲生沢川	4	稲生沢川新下田橋	A	1/12	1.3	1.3	<0.5~4.2	0.8
	青野川	6	青野川加畑橋	A	0/12	1.1	1.0	<0.5~1.8	0.8
	白田川	184	白田川しらなみ橋	A	0/12	0.8	0.7	<0.5~1.0	0.7
鮎沢川	鮎沢川	20	鮎沢川竹の下えん堤	A	0/12	0.9	0.8	<0.5~1.6	1.2
		19	鮎沢川県境	A	0/12	0.8	0.7	<0.5~1.2	1.2
狩野川	狩野川上流	21	狩野川瑞祥橋	AA	2/12	0.7	0.8	<0.5~1.8	<0.5
	狩野川中流	22	狩野川大仁橋	AA	0/12	<0.5	<0.5	<0.5~0.5	<0.5
	狩野川下流	24	狩野川徳倉橋	A	0/12	<0.5	0.6	<0.5~0.8	0.7
		25	狩野川黒瀬橋	A	0/12	0.5	0.6	<0.5~1.3	0.5
	来光川上流	169	来光川大土肥橋	A	1/12	0.8	0.9	<0.5~2.4	0.9
	来光川下流	170	来光川蛇ヶ橋	A	0/12	0.5	0.6	<0.5~1.2	0.7
	大場川上流	171	大場川出逢橋	A	1/12	1.3	1.2	0.7~2.2	0.9
	大場川下流	28	大場川塚本橋	B	0/12	0.9	0.9	0.6~1.4	1.1
	黄瀬川上流	29	黄瀬川あゆつぼの滝	B	0/12	0.9	0.9	0.6~1.6	1.4
	黄瀬川下流	30	黄瀬川黄瀬川橋	C	0/12	1.4	1.3	0.7~1.9	1.7
田子の浦	沼川上流	39	沼川井出六橋	C	0/12	2.6	2.2	0.7~3.3	3.5
	沼川下流	41	沼川沼川新橋	D	0/13	2.2	2.2	0.9~8.1	2.4
	潤井川	166	潤井川くすのき橋	A	1/12	1.2	1.3	0.6~4.9	0.9
		188	潤井川前田橋	A	0/12	1.0	0.8	<0.5~1.5	1.0
富士川	富士川下流	45	富士川富士川橋	A	0/12	1.0	0.8	<0.5~1.2	1.0
	芝川上流	167	芝川横手沢橋	AA	2/12	0.9	0.8	<0.5~1.3	0.9
	芝川下流	168	芝川芝富橋	A	0/12	0.8	0.8	<0.5~1.2	0.7
奥駿河湾	興津川上流	51	興津川八幡橋	AA	0/8	0.7	0.6	<0.5~1.0	0.7
	興津川下流	52	興津川浦安橋	B	0/8	0.6	0.6	<0.5~0.8	1.0
	巴川	48	巴川巴川橋(区境巴川橋)	C	0/8	1.4	1.3	0.5~2.4	1.7
		49	巴川港橋	C	0/8	1.0	1.1	0.6~3.0	0.9
静岡	安倍川上流	85	安倍川曙橋	AA	0/12	<0.5	<0.5	<0.5~<0.5	0.5
	安倍川下流	87	安倍川安倍川橋	AA	0/12	<0.5	<0.5	<0.5~<0.5	0.7
	藁科川	86	藁科川牧ヶ谷橋	AA	0/12	<0.5	<0.5	<0.5~<0.5	0.5
	浜川	89	浜川浜川新橋	C	0/8	1.1	1.0	0.7~1.3	1.3
	丸子川	90	丸子川ぺったん橋	C	0/8	0.9	0.8	0.6~1.2	1.1
志太	瀬戸川上流	92	瀬戸川勝草橋	A	0/12	0.5	0.5	<0.5~0.6	0.7
	瀬戸川下流及び 朝比奈川下流	93	瀬戸川当目大橋	B	0/12	1.1	0.9	<0.5~1.2	1.2
	朝比奈川上流	94	朝比奈川新横内橋	A	1/12	0.6	0.7	<0.5~2.1	0.7
	小石川	96	小石川八雲橋	D	0/12	1.6	1.4	0.7~2.5	2.1
	黒石川	97	黒石川黒石橋	C	0/12	2.0	1.7	0.8~3.2	3.3
	栃山川	99	栃山川一色大橋	C	0/12	2.5	2.2	1.1~4.1	2.4
大井川	大井川上流	100	大井川下泉橋	AA	0/12	<0.5	0.5	<0.5~0.5	0.5
	大井川中流	101	大井川神座	AA	0/12	<0.5	<0.5	<0.5~<0.5	0.5
	大井川下流	102	大井川富士見橋	A	1/12	0.9	0.9	<0.5~2.8	1.3
榛南小笠	菊川上流	106	菊川高田橋	A	0/12	1.4	1.1	0.6~1.7	1.7
	菊川下流	107	菊川国安橋	B	1/12	1.6	1.5	0.8~3.2	1.4

水域名	地点番号	測定地点名	類型	X/Y	75%値	平均値	日間平均値の範囲	(参考)	
								H30年度75%値	
榛南小笠	牛淵川	172	牛淵川鹿島橋	B	0/12	1.9	1.6	0.9~2.5	2.5
	萩間川	110	萩間川湊橋	A	1/12	1.2	1.2	0.5~3.4	1.7
	湯日川	174	湯日川岩留橋	B	1/12	1.3	1.2	<0.5~3.9	1.3
	坂口谷川	178	坂口谷川寄子橋	B	1/12	2.2	1.9	0.8~6.7	2.0
	勝間田川	179	勝間田川港橋	B	0/12	1.1	1.1	0.6~1.7	1.4
太田川	太田川上流	114	太田川二瀬(西)橋	A	1/12	0.7	0.8	<0.5~2.3	0.9
	太田川下流	115	太田川豊浜橋	B	0/12	1.2	1.1	<0.5~2.4	1.0
	原野谷川	116	原野谷川二瀬(東)橋	A	1/12	1.7	1.6	0.6~5.2	1.5
	仿僧川	118	仿僧川東橋	C	0/12	1.2	1.0	0.5~2.0	1.4
	敷地川	173	敷地川向笠2号橋	B	1/12	1.4	3.4	0.6~27	1.4
	逆川上流	175	逆川鞍下橋	A	0/12	0.5	0.5	<0.5~0.8	0.8
	逆川下流	177	逆川曙橋	C	0/12	2.1	1.5	0.7~2.7	1.9
天竜川	天竜川上流	121	天竜川鹿島橋	AA	2/12	0.8	0.8	<0.5~1.8	1.0
	天竜川下流	122	天竜川掛塚橋	AA	2/12	1.0	0.8	<0.5~1.4	1.0
馬込川	馬込川上流	127	馬込川茄子橋	C	0/12	1.0	0.8	<0.5~1.5	1.6
	馬込川下流	128	馬込川白羽橋	C	0/12	0.9	1.0	0.5~3.2	1.3
浜名湖	新川	147	新川志都呂橋	C	3/12	4.8	3.9	1.0~8.3	4.0
	伊佐地川	146	伊佐地川中之谷橋	B	0/12	0.9	0.9	<0.5~2.3	1.4
	都田川	144	都田川落合橋	A	1/12	1.1	1.0	<0.5~3.8	1.2

(注) *印は基準超過値、X/Yは(環境基準値に適合しない日数)/(総測定日数)

表IV-6-(2) 河川的环境基準点(測定地点)の水質汚濁状況(水生生物保全項目:mg/L)

水域名	地点番号	測定地点名	類型	全亜鉛		ノニルフェノール		LAS		
				m/n	平均	m/n	平均	m/n	平均	
伊豆	伊東大川上流	1	伊東大川八代田橋	生物A	0/1	0.004	0/1	<0.00006	0/1	0.0009
	伊東大川下流	2	伊東大川渚橋	生物B	0/1	0.009	0/1	<0.00006	0/1	0.0046
	河津川	3	河津川館橋	生物A	0/1	0.001	0/1	<0.00006	0/1	0.0015
	稲生沢川	4	稲生沢川新下田橋	生物B	0/1	0.003	0/1	0.00024	0/1	<0.0006
	青野川	6	青野川加畑橋	生物B	0/1	0.010	0/1	<0.00006	0/1	0.0033
	白田川	184	白田川しらなみ橋	生物A	0/1	0.003	0/1	<0.00006	0/1	0.0009
鮎沢川	鮎沢川	20	鮎沢川竹の下えん堤	生物A	0/1	0.003	0/1	<0.00006	0/1	<0.0006
		19	鮎沢川県境	生物A	0/1	0.004	0/1	0.00054	0/1	<0.0006
狩野川	狩野川上流	21	狩野川瑞祥橋	生物A	0/1	<0.001	0/1	<0.00006	0/1	<0.0006
	狩野川中流	22	狩野川大仁橋	生物A	0/12	0.002	0/4	<0.00006	0/4	0.0006
	狩野川下流	24	狩野川徳倉橋	生物B	0/12	0.004	0/4	<0.00006	0/4	0.0010
		25	狩野川黒瀬橋	生物B	0/12	0.004	0/4	<0.00006	0/4	0.0007
	来光川上流	169	来光川大土肥橋	生物A	0/1	0.004	0/1	0.00033	0/1	0.0008
	来光川下流	170	来光川蛇ヶ橋	生物B	0/12	0.002	0/4	<0.00006	0/4	0.0006
	大場川上流	171	大場川出逢橋	生物A	0/1	0.005	0/1	<0.00006	0/1	<0.0006
	大場川下流	28	大場川塚本橋	生物B	0/12	0.009	0/4	<0.00006	0/4	0.0012
	黄瀬川上流	29	黄瀬川あゆつぼの滝	生物B	0/1	0.004	0/1	<0.00006	0/1	<0.0006
	黄瀬川下流	30	黄瀬川黄瀬川橋	生物B	0/12	0.009	0/4	<0.00006	0/4	0.0023
田子の浦	沼川上流	39	沼川井出六橋	生物B	0/2	0.014	0/2	0.00007	0/2	0.0008
	沼川下流	41	沼川沼川新橋	生物B	0/2	0.007	0/2	<0.00006	0/2	0.0017
	潤井川	166	潤井川くすのき橋	生物A	0/1	0.023	0/1	0.00024	0/1	0.0016
		188	潤井川前田橋	生物A	0/2	0.007	0/2	<0.00006	0/2	0.0012

水域名		地点 番号	測定地点名	類型	全亜鉛		ノニルフェノール		LAS	
					m/n	平均	m/n	平均	m/n	平均
富士川	富士川下流	45	富士川富士川橋	生物B	0/12	0.004	0/2	<0.00006	0/4	0.0013
	芝川上流	167	芝川横手沢橋	生物A	0/1	0.002	0/1	<0.00006	0/1	<0.0006
	芝川下流	168	芝川芝富橋	生物A	0/1	0.004	0/1	<0.00006	0/1	<0.0006
奥駿河湾	興津川上流	51	興津川八幡橋	生物A	0/8	0.006	0/2	<0.00006	0/2	0.0007
	興津川下流	52	興津川浦安橋	生物B	0/8	0.005	0/2	0.00006	0/2	0.0037
	巴川	48	巴川巴川橋(区境巴川橋)	生物B	0/8	0.014	0/2	<0.00006	0/2	0.0009
49		巴川港橋	生物B	0/8	0.013	0/2	<0.00006	0/2	0.0033	
静岡	安倍川上流	85	安倍川曙橋	生物A	0/12	0.006	0/4	<0.00006	0/4	<0.0006
	安倍川下流	87	安倍川安倍川橋	生物A	0/12	0.003	0/4	<0.00006	0/4	0.0006
	藁科川	86	藁科川牧ヶ谷橋	生物A	0/12	0.002	0/4	<0.00006	0/4	<0.0006
	浜川	89	浜川浜川新橋	生物B	0/8	0.015	0/2	<0.00006	0/2	0.0017
	丸子川	90	丸子川べったん橋	生物B	0/8	0.009	0/2	<0.00006	0/2	0.0089
志太	瀬戸川上流	92	瀬戸川勝草橋	生物A	0/1	0.013	0/1	<0.00006	0/1	<0.0006
	瀬戸川下流及び朝比奈川下流	93	瀬戸川当目大橋	生物B	0/1	0.018	0/1	<0.00006	0/1	0.0016
	朝比奈川上流	94	朝比奈川新横内橋	生物A	0/1	0.009	0/1	<0.00006	0/1	0.0007
	小石川	96	小石川八雲橋	生物B	0/1	0.025	0/1	0.00008	0/2	0.022
	黒石川	97	黒石川黒石橋	生物B	0/1	0.019	0/1	<0.00006	0/2	0.023
	栃山川	99	栃山川一色大橋	生物B	0/1	0.021	0/1	<0.00006	0/1	0.011
大井川	大井川上流	100	大井川下泉橋	生物A	0/1	0.009	0/1	<0.00006	0/1	<0.0006
	大井川中流	101	大井川神座	生物A	0/12	0.002	0/4	<0.00006	0/4	<0.0006
	大井川下流	102	大井川富士見橋	生物A	0/12	0.003	0/4	<0.00006	0/4	0.0008
榛南小笠	菊川上流	106	菊川高田橋	生物B	0/12	0.009	0/4	0.00006	0/4	0.0039
	菊川下流	107	菊川国安橋	生物B	0/12	0.010	0/4	0.00006	0/4	0.0044
	牛淵川	172	牛淵川鹿島橋	生物B	0/12	0.009	0/4	0.00008	0/4	0.0097
	萩間川	110	萩間川湊橋	生物B	0/2	0.011	0/1	<0.00006	0/1	0.016
	湯日川	174	湯日川岩留橋	生物B	0/1	0.014	0/1	<0.00006	0/1	0.0020
	坂口谷川	178	坂口谷川寄子橋	生物B	0/1	0.017	0/1	<0.00006	0/1	0.0078
	勝間田川	179	勝間田川港橋	生物B	0/1	0.015	0/1	<0.00006	0/2	0.0068
太田川	太田川上流	114	太田川二瀬(西)橋	生物B	0/1	0.004	0/1	<0.00006	0/1	<0.0006
	太田川下流	115	太田川豊浜橋	生物B	0/1	0.007	0/1	<0.00006	0/1	<0.0006
	原野谷川	116	原野谷川二瀬(東)橋	生物B	0/1	0.018	0/1	<0.00006	0/1	0.0012
	仿僧川	118	仿僧川東橋	生物B	0/1	0.016	0/1	<0.00006	0/1	<0.0006
	敷地川	173	敷地川向笠2号橋	生物B	0/2	0.022	0/1	0.00006	0/1	0.011
	逆川上流	175	逆川鞍下橋	生物B	1/2	0.019	0/1	<0.00006	0/1	0.0014
	逆川下流	177	逆川曙橋	生物B	1/1	0.032*	0/1	<0.00006	0/1	0.0032
天竜川	天竜川上流	121	天竜川鹿島橋	生物A	0/12	0.007	0/4	0.00006	0/4	<0.0006
	天竜川下流	122	天竜川掛塚橋	生物B	0/12	0.007	0/4	0.00006	0/4	0.0012
馬込川	馬込川上流	127	馬込川茄子橋	生物B	0/4	0.004	0/2	<0.00006	0/2	0.0018
	馬込川下流	128	馬込川白羽橋	生物B	0/4	0.009	0/2	<0.00006	0/2	0.0007
浜名湖	新川	147	新川志都呂橋	生物B	0/4	0.008	0/2	<0.00006	0/2	<0.0006
	伊佐地川	146	伊佐地川中之谷橋	生物B	0/4	0.006	0/2	0.00006	0/2	0.0007
	都田川	144	都田川落合橋	生物B	0/4	0.005	0/2	<0.00006	0/2	<0.0006

(注) *印は基準超過値、m/nは(環境基準値を超える検体数)/(総検体数)

表IV-6-(3) 湖沼の環境基準点(測定地点)の水質汚濁状況(COD:mg/L)

水域名		地点番号	測定地点名	類型	X/Y	75%値	平均値	日間平均値の範囲	(参考)H30年度75%値
天竜川	佐久間ダム貯水池	187	佐久間ダム貯水池ダムサイト	A	1/12	2.2	2.0	0.6~3.4	2.3
浜名湖	佐鳴湖	148	佐鳴湖出口拓希橋	B	11/12	8.1*	7.1	4.5~8.4	8.7*

(注) *印は基準超過値、X/Yは(環境基準値に適合しない日数)/(総測定日数)

表IV-6-(4) 湖沼の水質汚濁状況(全燐:mg/L)

水域名		地点番号	測定地点名	類型	環境基準	X/Y	平均値	日間平均値の範囲	(参考)H30年度平均値
天竜川	佐久間ダム貯水池	187	佐久間ダム貯水池ダムサイト	IV	0.05	2/12	0.034	0.013~0.081	0.043

(注) X/Yは(環境基準値に適合しない日数)/(総測定日数)

表IV-6-(5) 湖沼の環境基準点(測定地点)の水質汚濁状況(水生生物保全項目:mg/L)

水域名		地点番号	測定地点名	類型	全亜鉛		ノニルフェノール		LAS	
					m/n	平均	m/n	平均	m/n	平均
天竜川	佐久間ダム貯水池	187	佐久間ダム貯水池ダムサイト	生物A	0/12	0.007	0/4	0.00006	0/4	<0.0006
浜名湖	佐鳴湖	148	佐鳴湖出口拓希橋	生物B	0/4	0.012	0/2	<0.00006	0/2	<0.0006

(注) m/nは(環境基準値を超える検体数)/(総検体数)

表IV-6-(6) 海域の環境基準点(測定地点)の水質汚濁状況(COD:mg/L)

水域名		地点番号	測定地点名	類型	X/Y	75%値	平均値	日間平均値の範囲	(参考)H30年度75%値
伊豆	伊豆沿岸海域	8	神奈川県境沖	A	1/4	2.0	1.9	1.2~2.8	1.3
		9	熱海港港中央	A	1/4	1.5	1.8	1.1~3.3	1.1
		10	網代漁港港中央	A	1/4	1.4	1.8	1.1~3.4	1.1
		11	網代漁港沖	A	1/4	1.4	1.5	1.0~2.1	1.1
		12	伊東港港中央	A	1/4	1.5	1.6	1.0~2.5	1.2
		13	稲取漁港港中央	A	1/4	1.6	1.8	1.2~2.8	1.0
		14	下田港港中央	A	2/4	2.2*	2.4	1.5~4.0	1.3
		15	妻良漁港港中央	A	1/4	1.6	1.5	0.8~2.2	0.9
		16	松崎港港中央	A	1/4	1.5	1.8	0.7~3.8	1.1
		17	土肥港港中央	A	1/4	1.4	1.5	0.7~2.7	1.3
奥駿河湾	田子の浦港	60	C水域田子の浦港(1)	C	0/12	2.6	2.3	1.7~2.8	2.6
		61	C水域田子の浦港(2)	C	0/12	2.3	2.1	1.3~2.9	3.1
		62	C水域田子の浦港(3)	C	0/8	1.2	1.1	0.7~1.9	1.4
	田子の浦地先海域(甲)	63	B水域田子の浦地先(1)	B	1/8	1.9	1.7	0.9~3.8	2.2
		64	B水域田子の浦地先(2)	B	0/8	1.6	1.5	1.0~2.2	1.8
		65	B水域田子の浦地先(3)	B	0/8	1.1	1.0	0.7~1.4	1.4
	田子の浦地先海域(乙)	66	A水域田子の浦地先(1)	A	1/8	1.5	1.4	1.0~2.1	1.5
67		A水域田子の浦地先(2)	A	0/8	1.2	1.2	0.8~1.9	1.3	
		68	A水域田子の浦地先(3)	A	0/8	1.2	1.0	0.6~1.5	1.2

水域名		地点 番号	測定地点名	類 型	X/Y	75%値	平均値	日間平均値 の範囲	(参考) H30年度 75%値
奥駿 河湾	奥駿河湾	59	I. B. P	A	0/4	0.7	0.7	0.5~1.1	1.3
		57	富士川沖	A	0/4	0.9	1.0	0.9~1.3	2.2*
		58	由比川沖	A	0/4	0.6	0.7	<0.5~1.0	1.1
		69	田子の浦沖	A	0/4	0.7	0.7	<0.5~0.9	0.7
		70	原町沖	A	0/4	1.3	1.0	<0.5~1.4	1.4
		71	志下沖	A	0/4	0.7	0.8	0.6~1.0	1.1
		72	狩野川河口沖	A	0/4	0.8	0.7	0.5~1.0	0.8
	清水港	56	江尻埠頭沖	B	0/4	2.9	2.7	2.2~2.9	2.6
沼津港外港及び その前面海域	73	沼津新港前面海域	B	1/4	2.9	2.8	1.9~3.8	1.8	
西駿 河湾	用宗漁港	79	用宗漁港港中央	B	0/4	2.0	1.9	1.8~2.0	2.1
	西駿河湾	74	久能沖	A	1/4	1.7	1.8	1.5~2.3	1.8
		75	高松沖	A	0/4	1.9	1.7	1.5~2.0	1.7
		76	石部沖	A	2/4	2.1*	1.9	1.5~2.3	1.7
		77	焼津漁港沖	A	2/4	2.4*	2.1	0.9~3.0	1.9
		78	栃山川沖	A	2/4	2.3*	2.1	1.2~2.9	2.0
		83	勝間田川沖	A	3/4	2.4*	2.0	1.1~2.5	2.0
	84	御前崎港港中央	A	2/4	2.4*	2.0	1.3~2.5	2.2*	
	焼津漁港	80	焼津漁港焼津地区港中央	B	1/4	2.6	2.4	1.2~3.4	2.7
		81	焼津漁港小川地区港中央	B	1/4	2.5	2.4	1.4~3.4	2.9
大井川港	82	大井川港港中央	B	1/4	2.5	2.2	1.3~3.3	2.3	
浜名 湖	浜名湖	133	浜名湖湖心	A	2/12	1.9	1.7	1.2~2.9	1.9
		135	浜名湖新所	A	2/12	1.8	1.6	0.9~3.0	1.8
		139	浜名湖新居	A	0/12	1.5	1.3	0.9~1.9	1.6
	鷺津湾	134	浜名湖鷺津	B	1/12	1.9	1.8	0.9~3.3	2.3
	松見ヶ浦	141	浜名湖松見ヶ浦	B	1/12	2.3	2.0	1.1~3.3	2.3
	猪鼻湖	138	浜名湖猪鼻湖	B	2/12	2.6	2.3	1.2~4.2	2.7
	奥庄内湖	136	浜名湖白洲	B	0/12	2.1	1.8	0.9~2.6	2.2
	宇布見湾	131	浜名湖塩田	B	0/12	1.5	1.5	1.1~2.2	1.7
遠州 灘	遠州灘	151	新野川沖	A	0/4	1.5	1.2	0.7~1.6	1.1
		152	菊川沖	A	0/4	1.3	1.1	0.7~1.4	1.1
		153	太田川沖	A	0/4	1.3	1.3	0.8~1.9	0.9
		154	馬込川沖	A	0/4	1.3	1.3	0.8~1.9	1.2
		155	浜名湖沖	A	0/4	1.4	1.3	0.8~1.7	1.4
		156	愛知県境沖	A	0/4	1.2	1.3	0.9~1.8	0.8

(注) *印は基準超過値、X/Yは(環境基準値に適合しない日数)/(総測定日数)

表IV-6-(7) 海域の水質汚濁状況（全窒素、全燐：mg/L）

水域名	環境基準 類型	年度平均値		環境基準	測定地点
		全窒素	全燐		
浜名湖（イ）	海域Ⅱ	0.19	0.020	全窒素 0.3 全燐 0.03	新居、新場
浜名湖（ロ）	海域Ⅲ	0.45	0.028	全窒素 0.6 全燐 0.05	湖心、新所、猪鼻湖
浜名湖（ハ）	海域Ⅲ	0.63*	0.043	全窒素 0.6 全燐 0.05	白洲、雄踏

（注）1 浜名湖における全窒素と全燐の年度平均値は各測定地点表層（上層）の年平均を平均した値

2 *印は基準超過値

表IV-6-(8) 海域の水質汚濁状況（水生生物保全項目：mg/L）

水域名	地点 番号	測定地点名	類型	全亜鉛		ノニルフェノール		LAS		
				m/n	平均	m/n	平均	m/n	平均	
浜名湖	浜名湖①	133	浜名湖湖心	生物A	0/2	0.003	0/2	<0.00006	0/2	<0.0006
		138	浜名湖猪鼻湖	生物A	0/2	0.003	0/2	<0.00006	0/2	<0.0006
		141	浜名湖松見ヶ浦	生物A	0/1	0.003	0/1	<0.00006	0/1	<0.0006
	浜名湖②	131	浜名湖塩田	生物特A	0/2	0.002	0/2	<0.00006	0/2	0.0008
		134	浜名湖鷺津	生物特A	0/2	0.006	0/1	<0.00006	0/1	0.0009
		135	浜名湖新所	生物特A	0/1	0.003	0/1	<0.00006	0/1	<0.0006
		136	浜名湖白洲	生物特A	0/2	0.004	0/2	<0.00006	0/2	<0.0006
		139	浜名湖新居	生物特A	0/1	0.003	0/1	<0.00006	0/1	<0.0006

イ 水質の推移

(7) 環境基準の達成率の推移

昭和40年代後半が水質汚濁のピークであった。環境基準の達成率は昭和60年度から平成14年度までは90%程度、平成15年度から平成22年度までは95%前後で推移し、平成23年度以降は90%前後で推移している。(表IV-7)

表IV-7 環境基準（BOD又はCOD）達成率の経年変化

年 度	河川 (%)	海域 (%)	湖沼 (%)	全体 (%)
昭和46	42 (5/12)	—	—	42 (5/ 12)
昭和48	53 (19/36)	80 (20/25)	0 (0/1)	64 (39/ 61)
昭和50	73 (31/42)	98 (50/51)	0 (0/1)	86 (81/ 94)
昭和52	78 (36/46)	94 (51/54)	0 (0/1)	86 (87/101)
昭和54	78 (36/46)	92 (50/54)	0 (0/1)	85 (86/101)
昭和56	73 (34/46)	96 (52/54)	0 (0/1)	85 (86/101)
昭和58	76 (35/46)	94 (51/54)	0 (0/1)	85 (86/101)
昭和60	82 (38/46)	98 (53/54)	0 (0/1)	90 (91/101)
昭和62	80 (37/46)	92 (50/54)	0 (0/1)	86 (87/101)
平成元	90 (45/50)	96 (52/54)	0 (0/1)	92 (97/105)
平成3	89 (51/57)	88 (48/54)	0 (0/1)	88 (99/112)
平成5	88 (53/60)	88 (48/54)	0 (0/1)	87 (101/115)
平成7	77 (49/63)	100 (54/54)	0 (0/1)	87 (103/118)
平成9	87 (56/64)	87 (47/54)	0 (0/1)	86 (103/119)
平成11	92 (59/64)	92 (50/54)	0 (0/1)	91 (109/119)
平成13	89 (57/64)	100 (54/54)	0 (0/1)	93 (111/119)
平成14	87 (56/64)	98 (53/54)	0 (0/1)	91 (109/119)
平成15	93 (60/64)	100 (54/54)	0 (0/1)	95 (114/119)
平成16	96 (63/65)	100 (54/54)	50 (1/2)	97 (118/121)
平成17	95 (62/65)	100 (54/54)	0 (0/2)	95 (116/121)
平成18	95 (61/64)	96 (52/54)	0 (0/2)	94 (113/120)
平成19	96 (62/64)	98 (53/54)	50 (1/2)	96 (116/120)
平成20	98 (63/64)	96 (52/54)	50 (1/2)	96 (116/120)
平成21	98 (63/64)	94 (51/54)	50 (1/2)	95 (115/120)
平成22	98 (63/64)	92 (50/54)	50 (1/2)	95 (114/120)
平成23	98 (63/64)	77 (42/54)	50 (1/2)	88 (106/120)
平成24	98 (63/64)	87 (47/54)	50 (1/2)	92 (111/120)
平成25	96 (62/64)	87 (47/54)	0 (0/2)	90 (109/120)
平成26	95 (61/64)	87 (47/54)	50 (1/2)	90 (109/120)
平成27	98 (63/64)	90 (49/54)	50 (1/2)	94 (113/120)
平成28	98 (63/64)	90 (49/54)	50 (1/2)	94 (113/120)
平成29	100 (64/64)	92 (50/54)	50 (1/2)	95 (115/120)
平成30	100 (64/64)	96 (52/54)	50 (1/2)	97 (117/120)
令和元	100 (64/64)	87 (47/54)	50 (1/2)	93 (112/120)

(注) () 内は、達成地点／環境基準点を示す。

(イ) 水質の経年変化

主な環境基準点におけるBOD・CODの年度平均値の経年変化を表Ⅳ-8に示した。河川と湖沼の令和元年度の平均値は、ほとんどの地点で昭和50年代に比べて数値が下がっており、全体的に水質の改善が見られる。特に巴川、馬込川、小石川、佐鳴湖において水質の改善が進んでいる。

表Ⅳ-8 主な環境基準点におけるBOD(湖沼・海域はCOD)の年度平均値の経年変化

測定地点	調 査 年 度												
	S50	S60	H7	H17	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
狩野川 大仁橋(AA)	1.2	1.3	1.6	0.6	0.5	0.7	0.6	0.5	0.5	0.6	0.5	0.5	<0.5
安倍川 曙橋(AA)	0.7	<0.5	<0.5	<0.5	0.6	0.6	0.5	<0.5	0.5	0.5	<0.5	0.5	<0.5
大井川 下泉橋(AA)	0.9	0.6	0.7	0.5	0.6	0.6	0.7	0.5	0.5	0.6	0.6	0.5	0.5
天竜川 鹿島橋(AA)	0.8	0.7	0.6	0.6	0.6	0.5	0.6	0.5	0.6	0.5	0.8	0.9	0.8
菊川 高田橋(A)	2.1	2.1	1.7	1.3	1.2	1.0	1.2	1.1	0.9	0.7	1.7	1.7	1.1
太田川 二瀬(西)橋(A)	1.6	1.4	1.5	1.0	1.0	1.1	1.0	1.1	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
大場川 塚本橋(B)	4.7	5.0	5.7	2.0	1.3	1.3	1.2	1.1	1.2	1.3	0.9	1.1	0.9
黄瀬川 あゆつぼの滝(B)	1.6	2.2	2.6	1.7	1.1	1.3	1.2	1.4	1.6	1.3	1.1	1.2	0.9
興津川 浦安橋(B)	3.2	2.5	3.0	1.0	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7	0.6
瀬戸川 当目大橋(B)	4.6	2.6	1.9	1.3	1.0	1.3	1.2	0.7	1.0	1.0	1.0	1.1	0.9
巴川 区境巴川橋(C)	8.7	7.7	8.2	4.6	1.4	1.3	1.2	1.3	1.3	1.6	1.6	1.5	1.3
馬込川 白羽橋(C)	11	4.1	2.8	2.4	1.3	1.2	1.4	1.5	1.4	1.0	1.4	1.1	1.0
新志都呂川 志都呂橋(C)	8.3	9.5	7.0	5.0	3.3	4.1	4.0	4.7	3.3	4.2	3.8	3.3	3.9
沼川 沼川新橋(D)	5.3	5.4	5.9	3.5	2.9	3.4	3.9	3.3	3.2	3.2	2.9	2.1	2.2
小石川 八雲橋(D)	15	13	5.7	4.2	2.6	2.3	2.7	1.7	1.4	1.3	1.8	2.1	1.4
佐鳴湖 出口拓希橋(B)	14	12	12	11	7.0	7.7	7.4	7.8	6.9	8.2	8.1	8.0	7.1
浜名湖 湖心(A)	2.3	2.0	1.5	1.3	2.2	2.1	1.9	3.0	2.2	2.0	1.9	1.9	1.7

(注) () 内は令和元年度における環境基準類型

ウ 水質ランキング

環境基準点における、BODで見た水質の順位は表Ⅳ－9のとおりである。令和元年度は、 $<0.5\text{mg/L}$ となった測定地点(環境基準点)は5地点であり、平成30年度に比べ5地点増加した。また、同様に 1.0mg/L 以下の水質が良好な測定地点は40地点で、平成30年度に比べ3地点増加した。

表Ⅳ－9 河川的环境基準点の水質ランキング (BOD:年度平均値)

	河川名	測定地点	令和元年度		平成30年度	
			順位	水質 (BOD mg/L)	順位	水質 (BOD mg/L)
1	狩野川	大仁橋	1	<0.5	1	0.5
2	安倍川	曙橋	1	<0.5	1	0.5
3	安倍川	安倍川橋	1	<0.5	12	0.7
4	藁科川	牧ヶ谷橋	1	<0.5	1	0.5
5	大井川	神座	1	<0.5	1	0.5
6	瀬戸川	勝草橋	6	0.5	7	0.6
7	大井川	下泉橋	6	0.5	1	0.5
8	逆川	鞍下橋	6	0.5	12	0.7
9	狩野川	徳倉橋	9	0.6	12	0.7
10	狩野川	黒瀬橋	9	0.5	7	0.6
11	来光川	蛇ヶ橋	9	0.6	7	0.6
12	興津川	八幡橋	9	0.6	7	0.6
13	興津川	浦安橋	9	0.6	12	0.7
14	河津川	館橋	14	0.7	12	0.7
15	白田川	しらなみ橋	14	0.7	7	0.6
16	鮎沢川	県境	14	0.7	28	0.9
17	朝比奈川	新横内橋	14	0.7	12	0.7
18	伊東大川	八代田橋	18	0.8	20	0.8
19	鮎沢川	竹の下えん堤	18	0.8	28	0.9
20	狩野川	瑞祥橋	18	0.8	1	0.5
21	潤井川	前田橋	18	0.8	28	0.9
22	富士川	富士川橋	18	0.8	20	0.8
23	芝川	横手沢橋	18	0.8	20	0.8
24	芝川	芝富橋	18	0.8	12	0.7
25	丸子川	ぺったん堤	18	0.8	36	1.0
26	太田川	二瀬(西)橋	18	0.8	20	0.8
27	天竜川	鹿島橋	18	0.8	28	0.9
28	天竜川	掛塚橋	18	0.8	28	0.9
29	馬込川	茄子境	18	0.8	38	1.1
30	大場川	塚本橋	30	0.9	38	1.1
31	黄瀬川	あゆつぼの滝	30	0.9	43	1.2
32	来光川	大土肥橋	30	0.9	20	0.8
33	瀬戸川	当目大橋	30	0.9	38	1.1
34	大井川	富士見橋	30	0.9	43	1.2
35	伊佐地川	中之谷橋	30	0.9	43	1.2
36	青野川	加畑橋	36	1.0	20	0.8
37	浜川	浜川新橋	36	1.0	43	1.2
38	仿僧川	東橋	36	1.0	52	1.4
39	馬込川	白羽橋	36	1.0	38	1.1
40	都田川	落合橋	36	1.0	28	0.9

2 水域別の水質汚濁の状況

(1) 伊豆水域 (河川・湖沼)

○は、通年調査 (毎月) を示す。

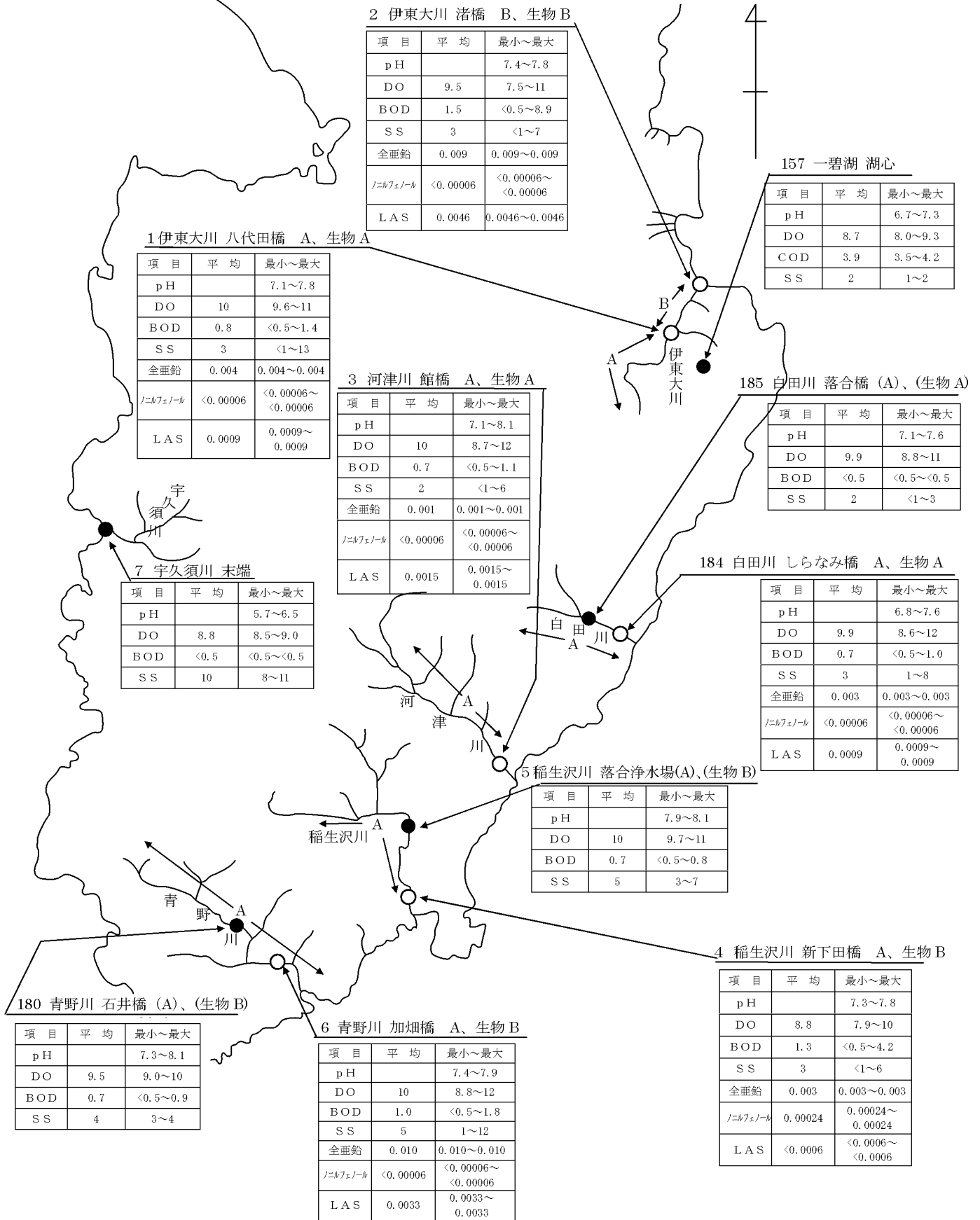
●は、一般調査 (年2回実施) を示す。

測定地点名の左の数字は地点番号を示す。

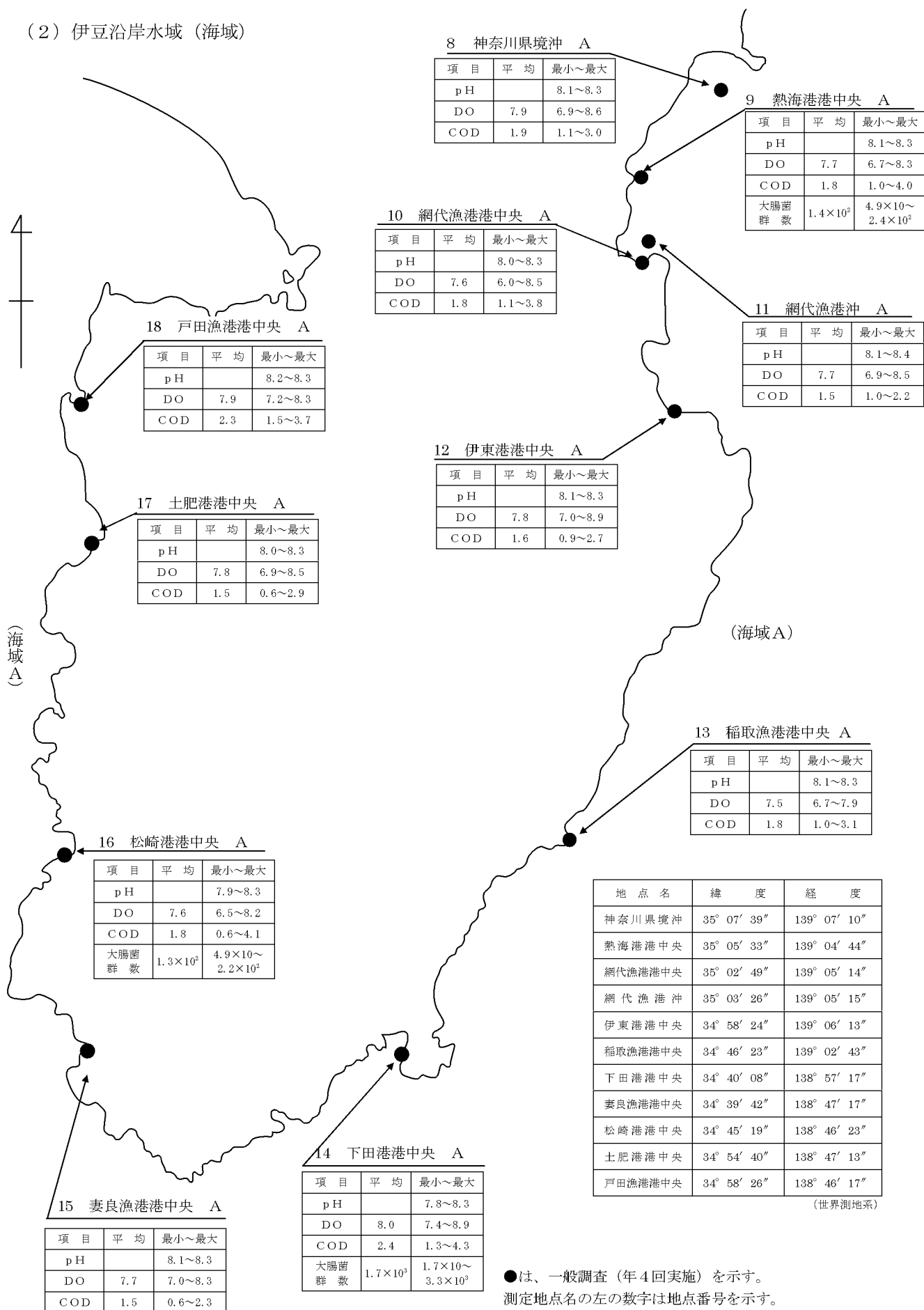
測定地点名の右のA、生物A~Bは環境基準類型を示す。

() 付の測定地点は補助地点を示す。

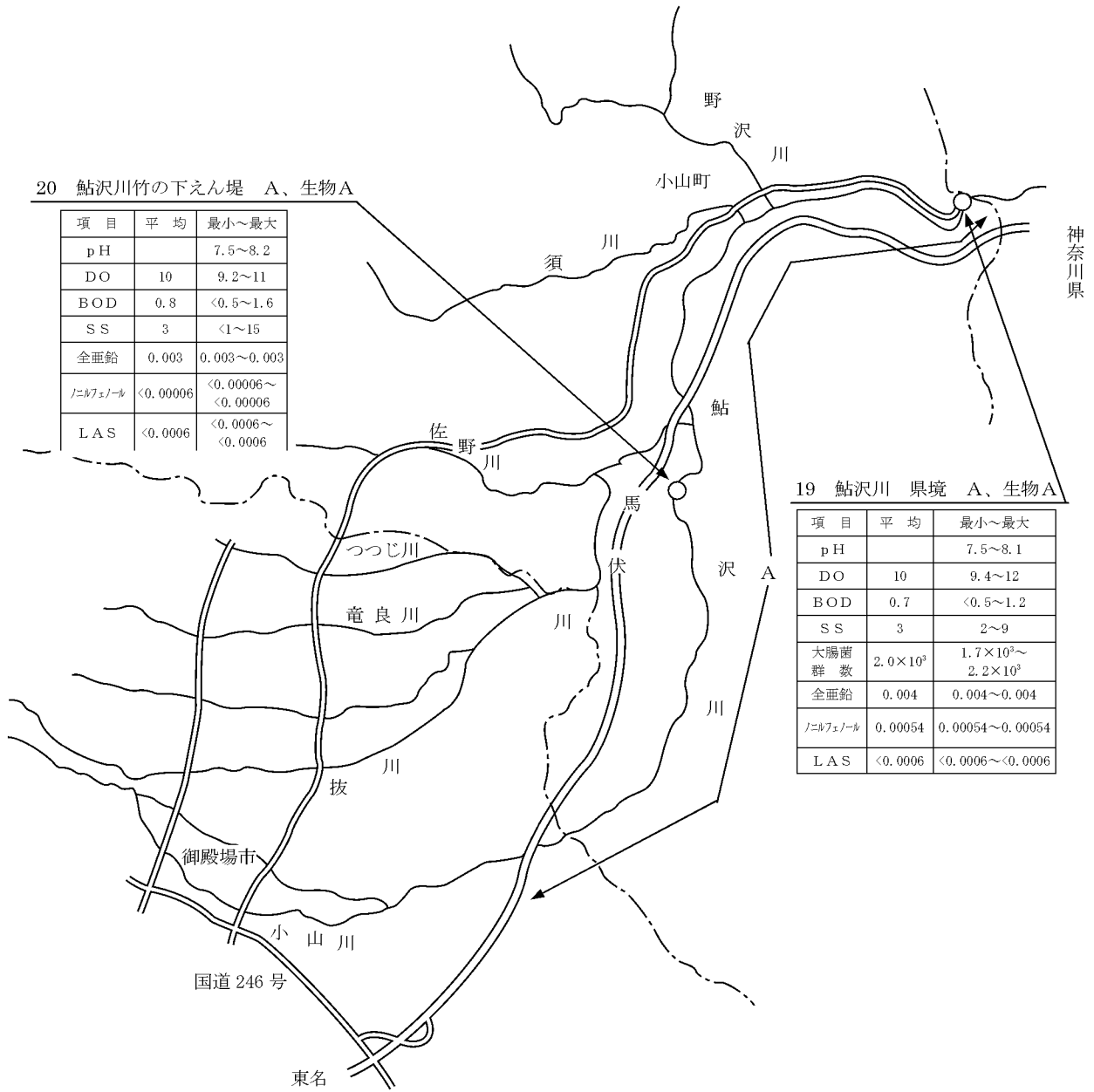
最小~最大は日間平均値ではなく各測定値の最小~最大。



(2) 伊豆沿岸水域 (海域)



(3) 鮎沢川水域 (河川)



20 鮎沢川竹の下えん堤 A、生物A

項目	平均	最小～最大
pH		7.5～8.2
DO	10	9.2～11
BOD	0.8	<0.5～1.6
SS	3	<1～15
全亜鉛	0.003	0.003～0.003
1-ニトロフェノール	<0.00006	<0.00006～ <0.00006
LAS	<0.0006	<0.0006～ <0.0006

19 鮎沢川 県境 A、生物A

項目	平均	最小～最大
pH		7.5～8.1
DO	10	9.4～12
BOD	0.7	<0.5～1.2
SS	3	2～9
大腸菌 群数	2.0×10^3	$1.7 \times 10^3 \sim$ 2.2×10^3
全亜鉛	0.004	0.004～0.004
1-ニトロフェノール	0.00054	0.00054～0.00054
LAS	<0.0006	<0.0006～<0.0006

○は、通年調査（毎月実施）を示す。
 測定地点名の左の数字は地点番号を示す。
 測定地点名の右のA、生物Aは、環境基準類型を示す。
 最小～最大は日間平均値ではなく各測定値の最小～最大。

(4) 狩野川水域 (河川)

29 黄瀬川 あゆつぼの滝 B、生物B

項目	平均	最小～最大
pH		7.4～8.7
DO	10	9.0～12
BOD	0.9	0.6～1.6
SS	3	<1～11
大腸菌群数	4.7×10^3	$2.4 \times 10^2 \sim 7.0 \times 10^3$
全亜鉛	0.004	0.004～0.004
ノニフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	<0.0006	<0.0006～<0.0006

171 大場川 出逢橋 A、生物A

項目	平均	最小～最大
pH		7.0～8.0
DO	9.9	8.2～11
BOD	1.2	0.7～2.2
SS	3	1～8
全亜鉛	0.005	0.005～0.005
ノニフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	<0.0006	<0.0006～<0.0006

27 大場川 月見橋 (B)、(生物B)

項目	平均	最小～最大
pH		7.8～7.8
DO	9.1	8.9～9.3
BOD	2.1	1.2～3.0
SS	4	3～4

30 黄瀬川 黄瀬川橋 C、生物B

項目	平均	最小～最大
pH		7.8～8.8
DO	9.6	8.3～11
BOD	1.3	0.6～2.3
SS	3	1～4
全亜鉛	0.009	0.006～0.018
ノニフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	0.0023	0.0008～0.0039

169 来光川 大土肥橋 A、生物A

項目	平均	最小～最大
pH		7.4～8.0
DO	10	8.7～11
BOD	0.9	<0.5～2.4
SS	4	<1～9
全亜鉛	0.004	0.004～0.004
ノニフェノール	0.00033	0.00033～0.00033
LAS	0.0008	0.0008～0.0008

181 柿田川 柿田橋

項目	平均	最小～最大
pH		7.6～8.0
DO	9.7	9.5～9.8
BOD	<0.5	<0.5～<0.5
SS	<1	<1～<1
全亜鉛	0.001	<0.001～0.002

170 来光川 蛇ヶ橋 A、生物B

項目	平均	最小～最大
pH		7.7～8.0
DO	9.3	7.0～10
BOD	0.6	<0.5～1.2
SS	5	2～14
大腸菌群数	1.6×10^4	$4.9 \times 10^2 \sim 7.0 \times 10^4$
全亜鉛	0.002	0.001～0.004
ノニフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	0.0006	<0.0006～0.0007

25 狩野川 黒瀬橋 A、生物B

項目	平均	最小～最大
pH		7.5～8.0
DO	9.3	8.1～10
BOD	0.6	<0.5～1.9
SS	3	1～8
大腸菌群数	6.9×10^3	$1.1 \times 10^2 \sim 1.4 \times 10^4$
全亜鉛	0.004	0.003～0.006
ノニフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	0.0007	<0.0006～0.0008

24 狩野川 徳倉橋 A、生物B

項目	平均	最小～最大
pH		7.6～7.9
DO	9.4	8.2～10
BOD	0.6	<0.5～0.8
SS	4	2～8
大腸菌群数	7.2×10^3	$1.3 \times 10^3 \sim 1.4 \times 10^4$
全亜鉛	0.004	0.003～0.006
ノニフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	0.0010	<0.0006～0.0013

28 大場川 塚本橋 B、生物B

項目	平均	最小～最大
pH		7.7～8.5
DO	9.3	8.2～10
BOD	0.9	0.5～1.8
SS	4	2～9
大腸菌群数	1.6×10^4	$2.4 \times 10^3 \sim 4.9 \times 10^4$
全亜鉛	0.009	0.005～0.016
ノニフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	0.0012	<0.0006～0.0030

23 狩野川 千歳橋 (A)、(生物B)

項目	平均	最小～最大
pH		7.6～8.0
DO	10	9.4～11
BOD	<0.5	<0.5～<0.5
SS	2	1～3
大腸菌群数	2.3×10^3	$2.4 \times 10^2 \sim 4.9 \times 10^3$
全亜鉛	0.002	0.001～0.003

22 狩野川 大仁橋 AA、生物A

項目	平均	最小～最大
pH		7.6～8.3
DO	10	9.0～11
BOD	<0.5	<0.5～<0.5
SS	1	<1～2
大腸菌群数	3.0×10^3	$2.2 \times 10^2 \sim 1.1 \times 10^4$
全亜鉛	0.002	0.001～0.004
ノニフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	0.0006	<0.0006～0.0006

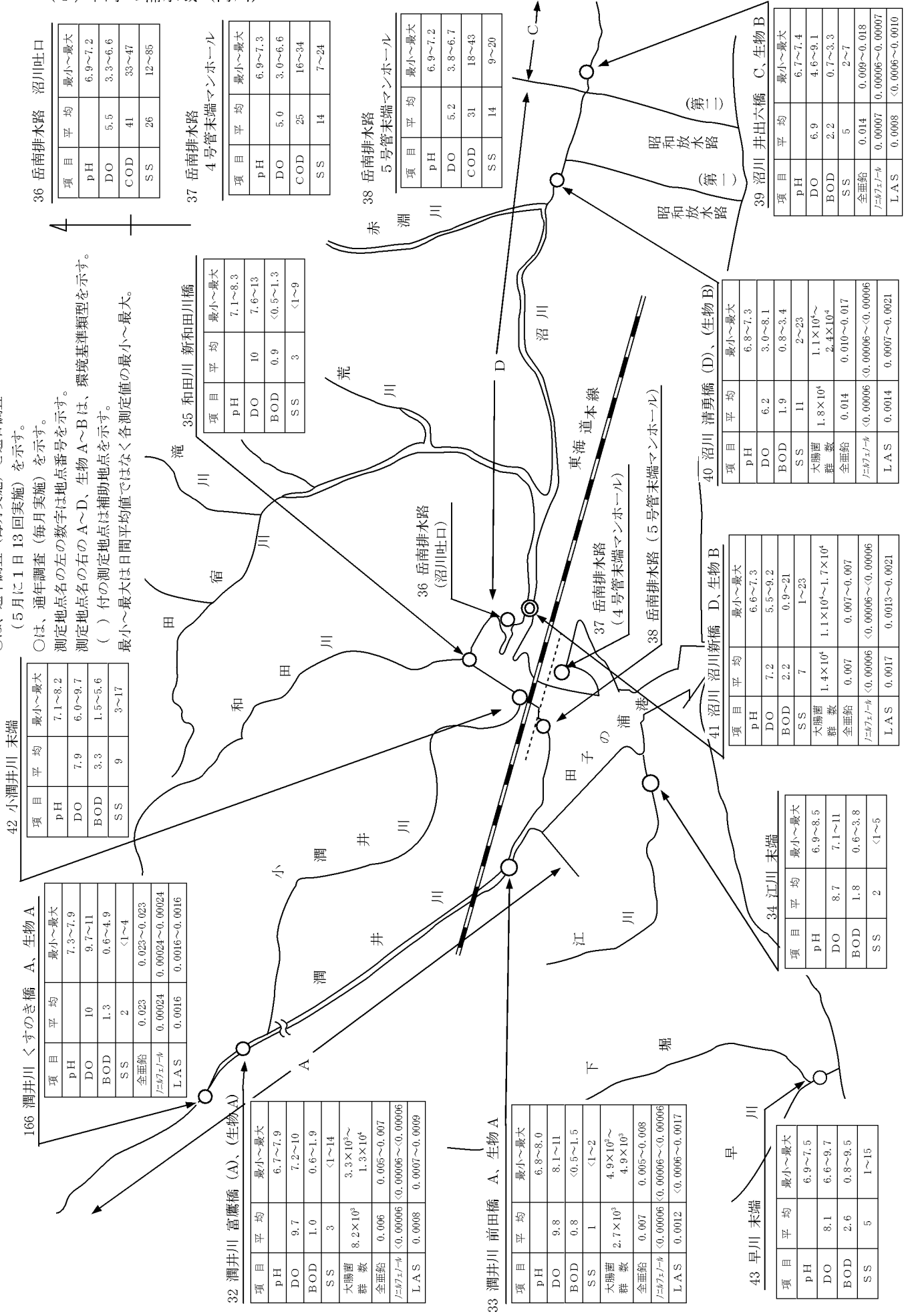
21 狩野川 瑞祥橋 AA、生物A

項目	平均	最小～最大
pH		7.2～8.2
DO	10	9.0～12
BOD	0.8	<0.5～1.8
SS	1	<1～3
全亜鉛	<0.001	<0.001～<0.001
ノニフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	<0.0006	<0.0006～<0.0006

◎は、通年調査 (毎月実施) と通日調査 (5月に1日13回実施) を示す。
 ○は、通年調査 (毎月実施) を示す。
 ●は、一般調査 (年2、4回実施) を示す。
 測定地点名の左の数字は地点番号を示す。
 測定地点名の右のAA～B、生物A～Bは、環境基準類型を示す。
 () 付の測定地点は補助地点を示す。
 最小～最大は日間平均値ではなく各測定値の最小～最大。

(5) 田子の浦水域 (河川)

◎は、通年調査 (毎月実施) と通日調査 (5月に1日13回実施) を示す。
 ○は、通年調査 (毎月実施) を示す。
 測定地点名の左の数字は地点番号を示す。
 測定地点名の右のA~D、生物A~Bは、環境基準類型を示す。
 () 付の測定地点は補助地点を示す。
 最小~最大は日間平均値ではなく各測定値の最小~最大。



42 小潤井川 末端

項目	平均	最小~最大
pH	7.1~8.2	7.1~8.2
DO	7.9	6.0~9.7
BOD	3.3	1.5~5.6
SS	9	3~17

166 潤井川 くすのき橋 A、生物 A

項目	平均	最小~最大
pH	7.3~7.9	7.3~7.9
DO	10	9.7~11
BOD	1.3	0.6~4.9
SS	2	<1~4
全亜鉛	0.023	0.023~0.023
1/27.5/μ	0.00024	0.00024~0.00024
L.A.S	0.0016	0.0016~0.0016

32 潤井川 富鷹橋 (A)、(生物A)

項目	平均	最小~最大
pH	6.7~7.9	6.7~7.9
DO	9.7	7.2~10
BOD	1.0	0.6~1.9
SS	3	<1~14
大腸菌	8.2×10^3	$3.3 \times 10^3 \sim 1.3 \times 10^4$
群数	0.006	0.005~0.007
全亜鉛	<0.00006	<0.00006~<0.00006
1/27.5/μ	0.0008	0.0007~0.0009
L.A.S	0.0008	0.0007~0.0009

33 潤井川 前橋 A、生物 A

項目	平均	最小~最大
pH	6.8~8.0	6.8~8.0
DO	9.8	8.1~11
BOD	0.8	<0.5~1.5
SS	1	<1~2
大腸菌	2.7×10^3	$4.9 \times 10^3 \sim 4.9 \times 10^3$
群数	0.007	0.005~0.008
全亜鉛	<0.00006	<0.00006~<0.00006
1/27.5/μ	0.0012	<0.0006~0.0017
L.A.S	0.0012	<0.0006~0.0017

43 早川 末端

項目	平均	最小~最大
pH	6.9~7.5	6.9~7.5
DO	8.1	6.6~9.7
BOD	2.6	0.8~9.5
SS	5	1~15

36 岳南排水路 沼川吐口

項目	平均	最小~最大
pH	5.5	6.9~7.2
DO	41	3.3~6.6
COD	26	33~47
SS	14	12~85

37 岳南排水路 4号管末端マンホール

項目	平均	最小~最大
pH	5.0	6.9~7.3
DO	25	3.0~6.6
COD	14	16~34
SS	14	7~24

38 岳南排水路 5号管末端マンホール

項目	平均	最小~最大
pH	5.2	6.9~7.2
DO	31	3.8~6.7
COD	14	18~43
SS	14	9~20

40 沼川 清勇橋 (D)、(生物B)

項目	平均	最小~最大
pH	6.2	6.8~7.3
DO	1.9	3.0~8.1
BOD	11	0.8~3.4
SS	1.8x10 ⁴	2~23
大腸菌	0.014	1.1x10 ⁴ ~2.4x10 ⁴
群数	<0.00006	0.010~0.017
全亜鉛	0.0014	<0.00006~<0.00006
1/27.5/μ	0.0014	0.0007~0.0021
L.A.S	0.0014	0.0007~0.0021

41 沼川 沼川新橋 D、(生物B)

項目	平均	最小~最大
pH	7.2	6.6~7.3
DO	2.2	5.5~9.2
BOD	7	0.9~21
SS	1.4x10 ⁶	1~23
大腸菌	0.007	1.1x10 ⁵ ~1.7x10 ⁶
群数	0.007	0.007~0.007
全亜鉛	<0.00006	<0.00006~<0.00006
1/27.5/μ	0.0017	0.0013~0.0021
L.A.S	0.0017	0.0013~0.0021

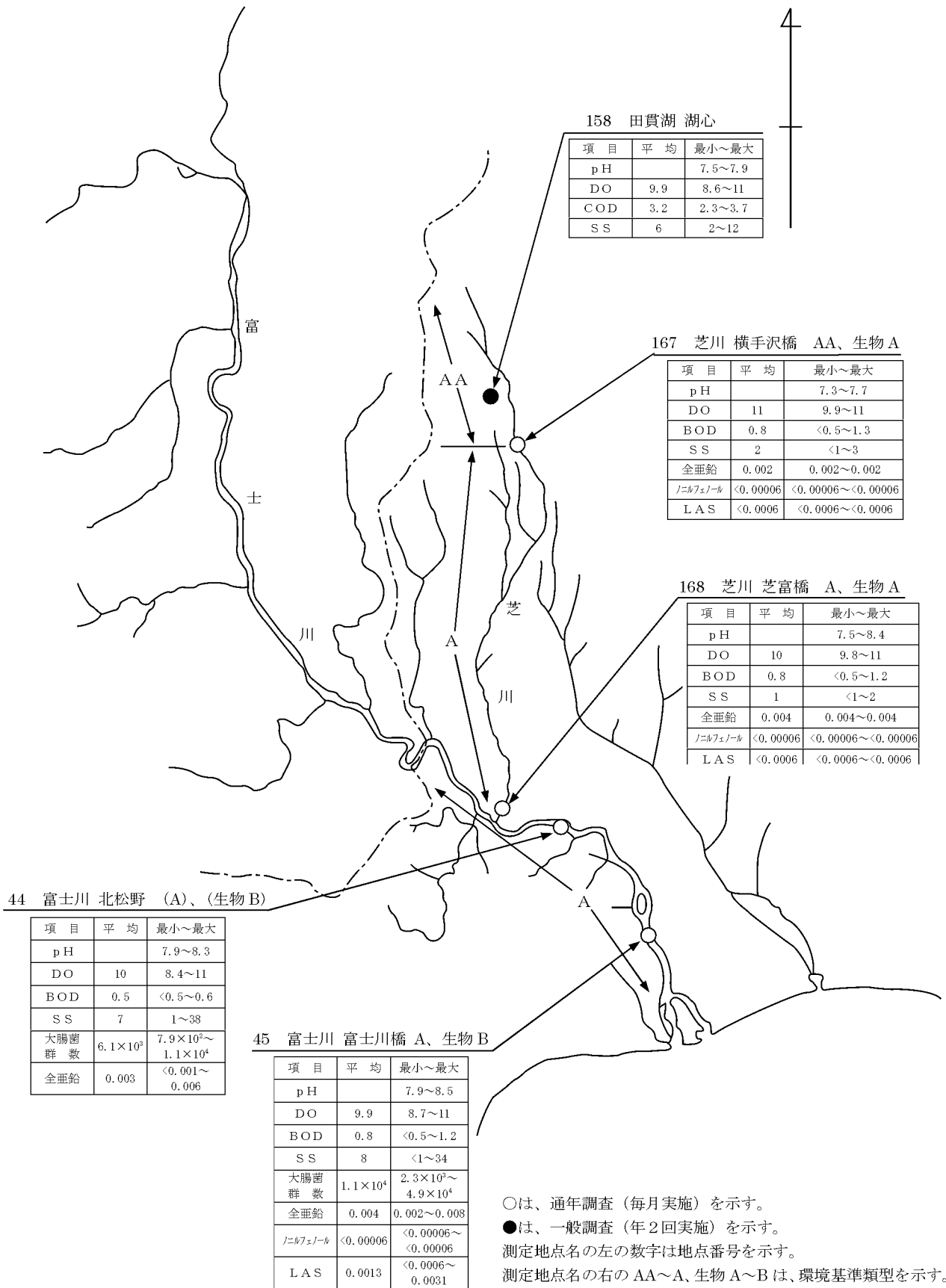
34 江川 末端

項目	平均	最小~最大
pH	6.9~8.5	6.9~8.5
DO	8.7	7.1~11
BOD	1.8	0.6~3.8
SS	2	<1~5

39 沼川 井出六橋 C、(生物B)

項目	平均	最小~最大
pH	6.9	6.7~7.4
DO	2.2	4.6~9.1
BOD	5	0.7~3.3
SS	0.014	2~7
全亜鉛	0.0007	0.0009~0.018
1/27.5/μ	0.0007	0.0006~0.0007
L.A.S	0.0008	<0.0006~0.0010

(6) 富士川水域 (河川・湖沼)



○は、通年調査（毎月実施）を示す。
 ●は、一般調査（年2回実施）を示す。
 測定地点名の左の数字は地点番号を示す。
 測定地点名の右のAA～A、生物A～Bは、環境基準類型を示す。
 () 付の測定地点は補助地点を示す。
 最小～最大は日間平均値ではなく各測定値の最小～最大。

(7) 奥駿河湾水域 (河川)

52 興津川 浦安橋 B、生物 B

項目	平均	最小～最大
pH		7.8～8.5
DO	1.0	9.4～11
BOD	0.6	<0.5～0.8
SS	1	<1～1
大腸菌 群数	1.1×10^4	$1.7 \times 10^3 \sim 4.9 \times 10^4$
全亜鉛	0.005	0.001～0.010
/=B7E/-#	0.00006	<0.00006～0.00006
L.A.S	0.0037	0.0012～0.0061

51 興津川 八幡橋 AA、生物 A

項目	平均	最小～最大
pH		7.9～8.4
DO	1.0	9.3～11
BOD	0.6	<0.5～1.0
SS	1	<1～2
大腸菌 群数	7.6×10^3	$7.0 \times 10^2 \sim 3.3 \times 10^4$
全亜鉛	0.006	0.002～0.015
/=B7E/-#	<0.00006	<0.00006～<0.00006
L.A.S	0.0007	<0.0006～0.0008

巴川 巴川橋(区境巴川橋)C、生物 B

項目	平均	最小～最大
pH		7.4～8.0
DO	8.6	6.3～10
BOD	1.3	0.5～2.4
SS	6	1～13
大腸菌 群数	1.4×10^5	$4.9 \times 10^3 \sim 7.9 \times 10^5$
全亜鉛	0.014	0.008～0.019
/=B7E/-#	<0.00006	<0.00006～<0.00006
L.A.S	0.0009	<0.0006～0.0012

項目	平均	最小～最大
pH		7.4～7.8
DO	8.8	7.1～10
BOD	1.7	1.1～3.3
SS	7	1～13
大腸菌群数	3.7×10^4	$2.4 \times 10^2 \sim 7.0 \times 10^4$
全亜鉛	0.016	0.012～0.021
/=B7E/-#	0.00006	<0.00006～0.00006
L.A.S	0.0029	<0.0006～0.0051

49 巴川 港橋 C、生物 B

項目	平均	最小～最大
pH		7.4～7.9
DO	6.5	5.3～7.7
BOD	1.1	0.6～3.0
SS	2	<1～6
大腸菌 群数	7.0×10^4	$1.3 \times 10^4 \sim 3.3 \times 10^5$
全亜鉛	0.013	0.008～0.017
/=B7E/-#	<0.00006	<0.00006～<0.00006
L.A.S	0.0033	<0.0006～0.0059

50 庵原川 庵原川橋

項目	平均	最小～最大
pH		8.0～8.8
DO	11	9.2～13
BOD	1.4	0.7～2.9
SS	2	<1～4
大腸菌 群数	1.5×10^4	$4.9 \times 10^3 \sim 7.9 \times 10^5$
全亜鉛	0.008	0.005～0.010

53 由比川 末端

項目	平均	最小～最大
pH		8.0～8.4
DO	10	9.3～11
BOD	1.3	0.6～3.4
SS	2	1～6
大腸菌 群数	2.0×10^4	$4.9 \times 10^3 \sim 4.9 \times 10^4$
全亜鉛	0.008	0.004～0.012

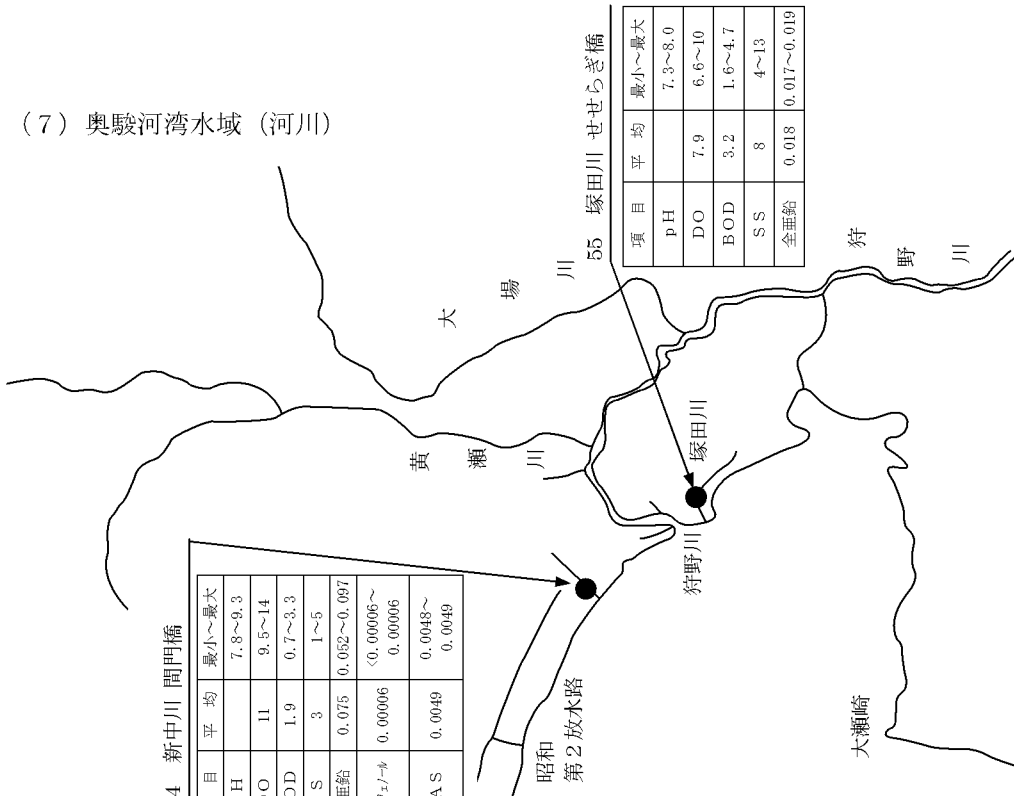
183 由比川 入山橋

項目	平均	最小～最大
pH		7.9～8.2
DO	9.7	9.6～10
BOD	0.5	<0.5～0.6
SS	2	<1～2
大腸菌 群数	5.6×10^3	$3.3 \times 10^3 \sim 1.1 \times 10^4$
全亜鉛	0.007	0.003～0.013

54 新中川 間門橋

項目	平均	最小～最大
pH		7.8～9.3
DO	11	9.5～14
BOD	1.9	0.7～3.3
SS	3	1～5
全亜鉛	0.075	0.032～0.097
/=B7E/-#	0.00006	<0.00006～0.00006
L.A.S	0.0049	0.0048～0.0049

項目	平均	最小～最大
pH		7.3～8.0
DO	7.9	6.6～10
BOD	3.2	1.6～4.7
SS	8	4～13
全亜鉛	0.018	0.017～0.019



●は、一般調査 (年4、6、8回実施) を示す。

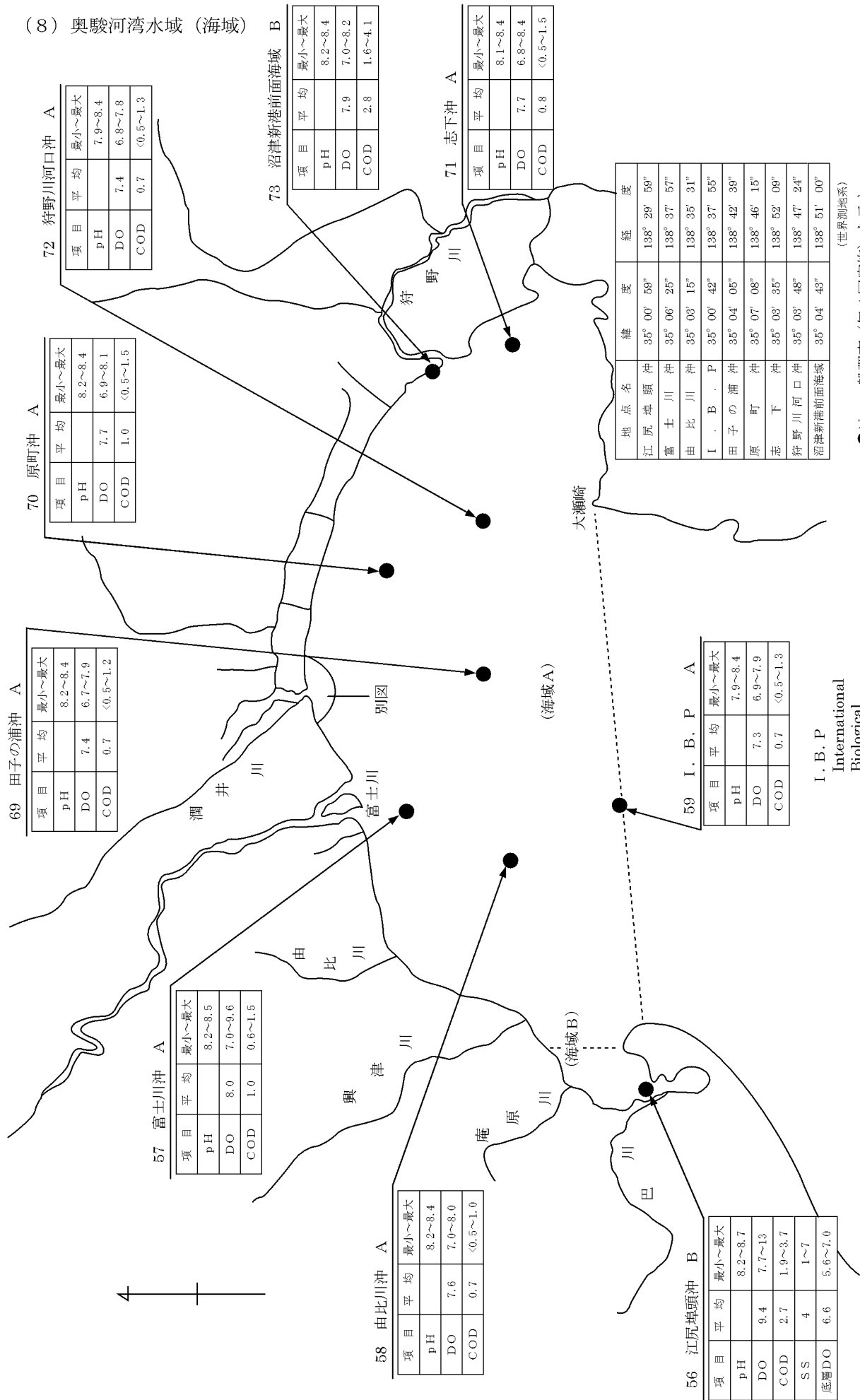
測定地点名の左の数字は地点番号を示す。

測定地点名の右のA～C、生物A～Bは、環境基準類型を示す。

() 付の測定地点は補助地点を示す。

最小～最大は日間平均値ではなく各測定値の最小～最大。

(8) 奥駿河湾水域 (海域)



●は、一般調査 (年4回実施) を示す。
測定地点名の左の数字は地点番号を示す。
測定地点名の右のA~Bは、環境基準類型を示す。
最小~最大は日間平均値ではなく各測定値の最小~最大。

奥駿河湾水域（海域）別図

○は、通年調査（毎月実施）を示す。
●は、一般調査（年8回実施）を示す。
測定地点名の左の数字は地点番号を示す。
測定地点名の右のA～Cは、環境基準類型を示す。
最小～最大は日間平均値ではなく各測定値の最小～最大。

61 水域田子の浦港2 C

項目	平均	最小～最大
pH		7.2～8.3
DO	7.0	5.3～8.3
COD	2.1	0.7～6.3
SS	2	<1～4

60 水域田子の浦港1 C

項目	平均	最小～最大
pH		7.3～8.3
DO	6.9	5.8～8.4
COD	2.3	0.9～4.7
SS	3	<1～11

62 水域田子の浦港3 C

項目	平均	最小～最大
pH		7.9～8.3
DO	7.1	4.6～8.1
COD	1.1	0.6～3.0
SS	1	<1～3

65 水域田子の浦港先3 B

項目	平均	最小～最大
pH		8.1～8.3
DO	7.3	6.5～8.1
COD	1.0	0.6～2.0
SS	2	<1～3

68 水域田子の浦港先3 A

項目	平均	最小～最大
pH		8.1～8.3
DO	7.2	6.2～8.2
COD	1.0	0.5～1.8
SS	1	<1～4

64 水域田子の浦港先2 B

項目	平均	最小～最大
pH		8.1～8.3
DO	7.3	6.4～8.6
COD	1.5	0.9～2.4
SS	2	<1～8

67 水域田子の浦港先2 A

項目	平均	最小～最大
pH		8.1～8.3
DO	7.3	6.7～8.1
COD	1.2	0.7～2.0
SS	2	<1～4

63 水域田子の浦港先1 B

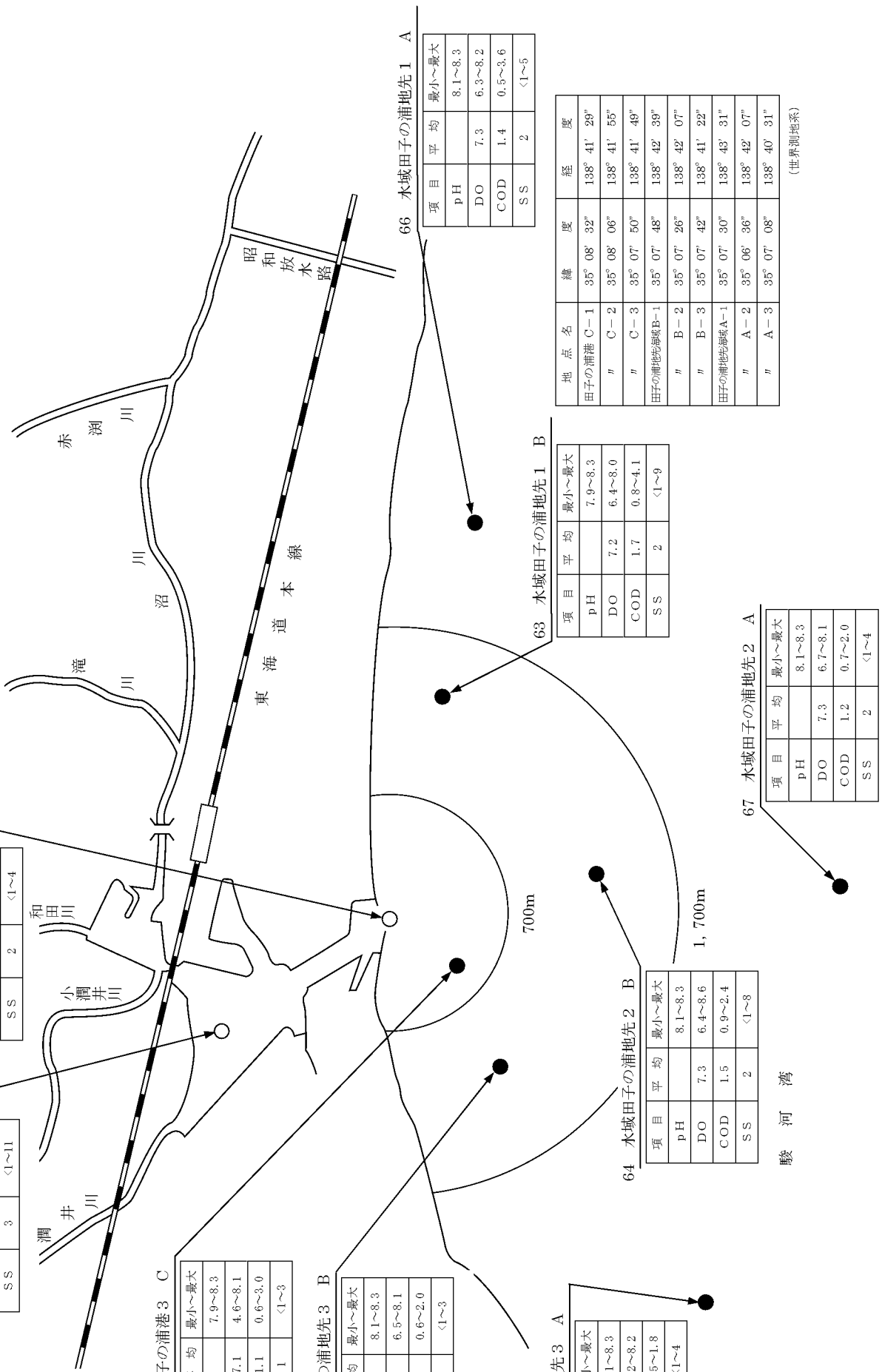
項目	平均	最小～最大
pH		7.9～8.3
DO	7.2	6.4～8.0
COD	1.7	0.8～4.1
SS	2	<1～9

66 水域田子の浦港先1 A

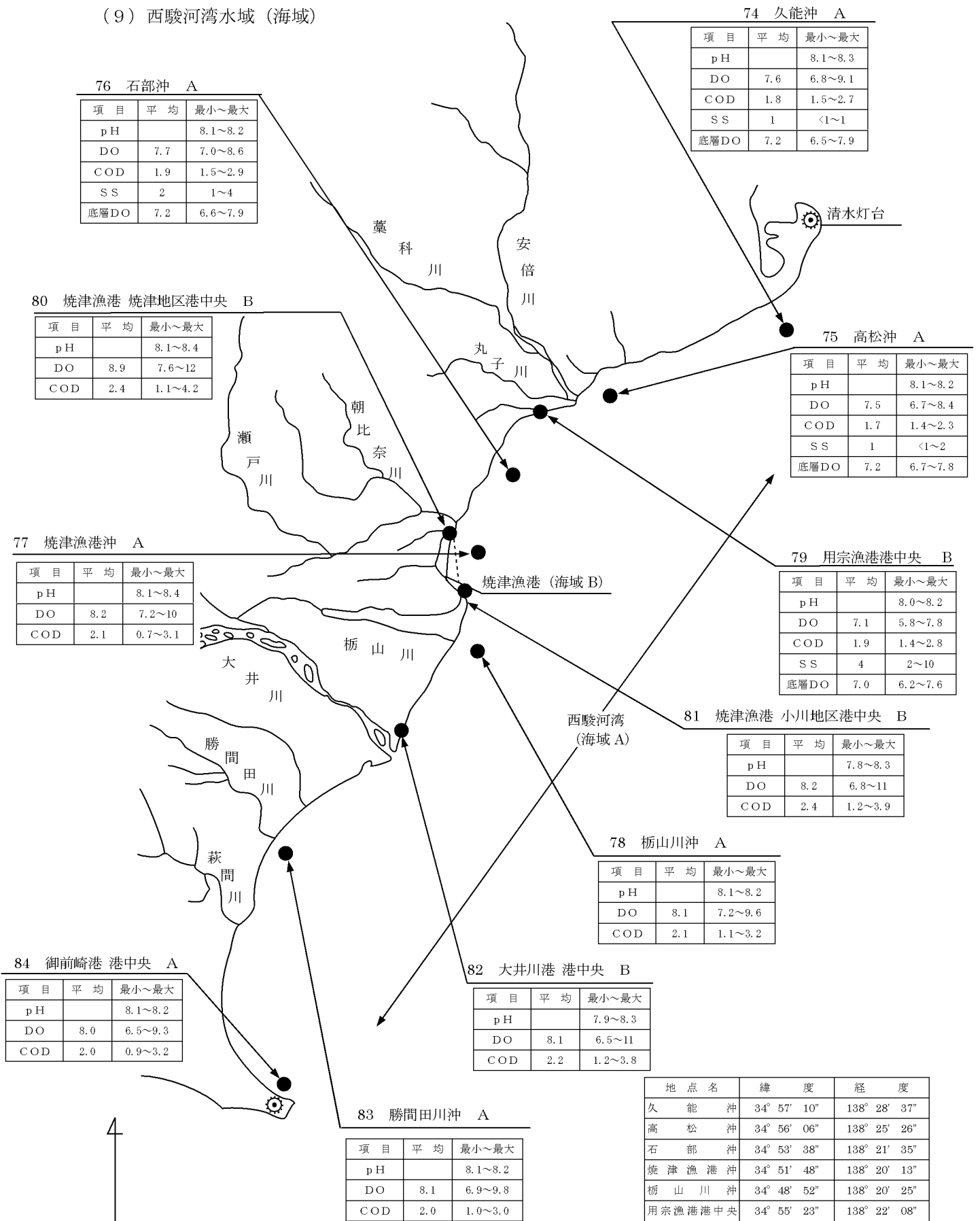
項目	平均	最小～最大
pH		8.1～8.3
DO	7.3	6.3～8.2
COD	1.4	0.5～3.6
SS	2	<1～5

地点名	緯度	経度
田子の浦港C-1	35° 08' 32"	138° 41' 29"
" C-2	35° 08' 06"	138° 41' 55"
" C-3	35° 07' 50"	138° 41' 49"
田子の浦港海域B-1	35° 07' 48"	138° 42' 39"
" B-2	35° 07' 26"	138° 42' 07"
" B-3	35° 07' 42"	138° 41' 22"
田子の浦港海域A-1	35° 07' 30"	138° 43' 31"
" A-2	35° 06' 36"	138° 42' 07"
" A-3	35° 07' 08"	138° 40' 31"

(世界測地系)



(9) 西駿河湾水域 (海域)



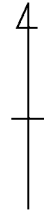
●は、一般調査 (年4回実施) を示す。
 測定地点名の左の数字は地点番号を示す。
 測定地点名の右のA~Bは、環境基準類型を示す。
 最小~最大は日間平均値ではなく各測定値の最小~最大。

地点名	緯度	経度
久能沖	34° 57' 10"	138° 28' 37"
高松沖	34° 56' 06"	138° 25' 26"
石部沖	34° 53' 38"	138° 21' 35"
焼津漁港沖	34° 51' 48"	138° 20' 13"
梶山川沖	34° 48' 52"	138° 20' 25"
用宗漁港港中央	34° 55' 23"	138° 22' 08"
焼津漁港焼津地区港中央	34° 52' 06"	138° 19' 52"
焼津漁港小川地区港中央	34° 51' 01"	138° 19' 47"
大井川港港中央	34° 46' 43"	138° 17' 41"
勝間田川沖	34° 43' 45"	138° 16' 06"
御前崎港港中央	34° 36' 55"	138° 13' 15"

(世界測地系)

(10) 静岡水域 (河川)

○は、通年調査 (毎月実施) を示す。
 ●は、一般調査 (年 6、8 回実施) を示す。
 測定地点名の左の数字は地点番号を示す。
 測定地点名の右の AA~C、生物 A~B は、環境基準類型を示す。



86 藁科川 牧ヶ谷橋 AA、生物 A

項目	平均	最小~最大
pH		7.6~8.3
DO	9.6	8.2~11
BOD	<0.5	<0.5~<0.5
SS	2	<1~5
大腸菌群数	1.1×10^3	$7.9 \times 10^2 \sim 3.3 \times 10^3$
全亜鉛	0.002	<0.001~0.008
ノニルフェノール	<0.00006	<0.00006~<0.00006
LAS	<0.0006	<0.0006~<0.0006

85 安倍川 曙橋 AA、生物 A

項目	平均	最小~最大
pH		7.7~8.1
DO	9.7	8.5~11
BOD	<0.5	<0.5~<0.5
SS	81	15~240
大腸菌群数	7.1×10^3	$4.9 \times 10^2 \sim 3.3 \times 10^3$
全亜鉛	0.006	0.001~0.014
ノニルフェノール	<0.00006	<0.00006~<0.00006
LAS	<0.0006	<0.0006~<0.0006

87 安倍川 安倍川橋 AA、生物 A

項目	平均	最小~最大
pH		7.7~8.3
DO	9.9	8.2~11
BOD	<0.5	<0.5~<0.5
SS	33	<1~110
大腸菌群数	1.1×10^3	$1.3 \times 10^2 \sim 2.4 \times 10^3$
全亜鉛	0.003	<0.001~0.008
ノニルフェノール	<0.00006	<0.00006~<0.00006
LAS	0.0006	<0.0006~0.0006

89 浜川 浜川新橋 C、生物 B

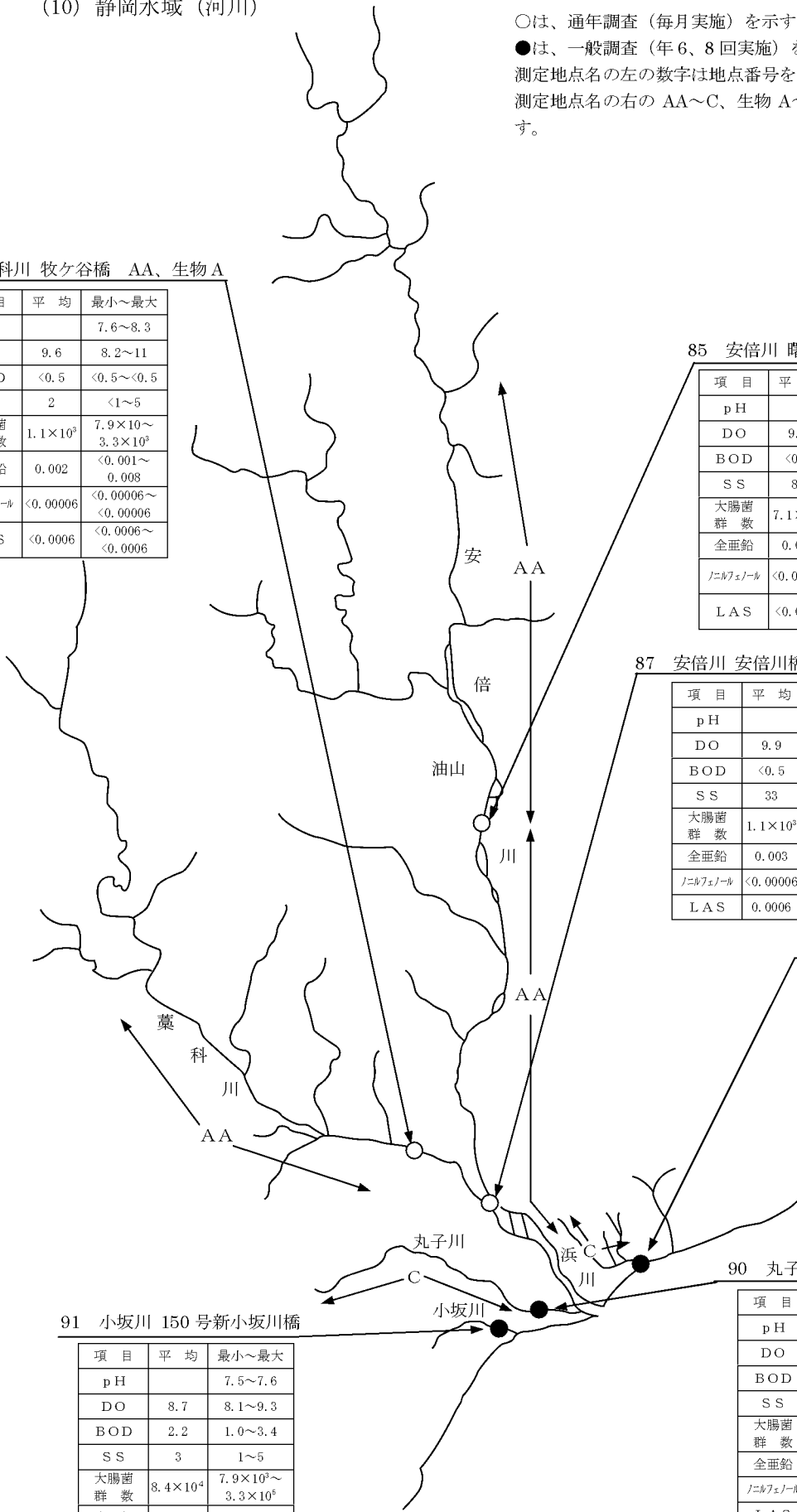
項目	平均	最小~最大
pH		7.0~7.7
DO	9.0	8.2~9.8
BOD	1.0	0.7~1.3
SS	2	1~2
大腸菌群数	1.6×10^4	$4.6 \times 10^3 \sim 4.9 \times 10^4$
全亜鉛	0.015	0.011~0.017
ノニルフェノール	<0.00006	<0.00006~<0.00006
LAS	0.0017	<0.0006~0.0028

90 丸子川 べったん橋 C、生物 B

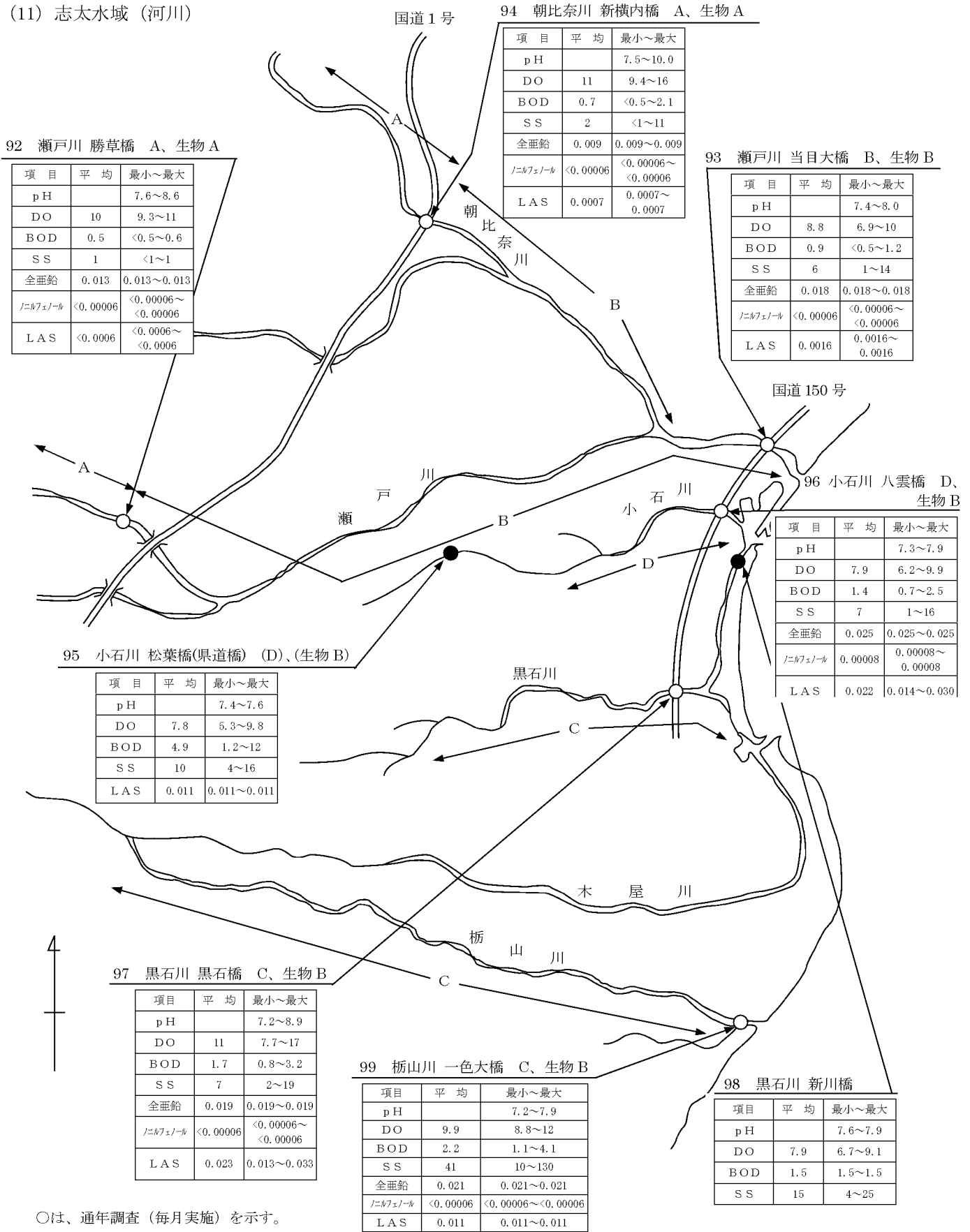
項目	平均	最小~最大
pH		7.7~8.2
DO	10	9.7~11
BOD	0.8	0.6~1.2
SS	2	<1~5
大腸菌群数	2.0×10^4	$4.9 \times 10^3 \sim 4.9 \times 10^4$
全亜鉛	0.009	0.005~0.013
ノニルフェノール	<0.00006	<0.00006~<0.00006
LAS	0.0089	0.0027~0.015

91 小坂川 150号新小坂川橋

項目	平均	最小~最大
pH		7.5~7.6
DO	8.7	8.1~9.3
BOD	2.2	1.0~3.4
SS	3	1~5
大腸菌群数	8.4×10^4	$7.9 \times 10^3 \sim 3.3 \times 10^6$
全亜鉛	0.008	0.004~0.011



(11) 志太水域 (河川)



○は、通年調査 (毎月実施) を示す。

●は、一般調査 (年2、4回実施) を示す。

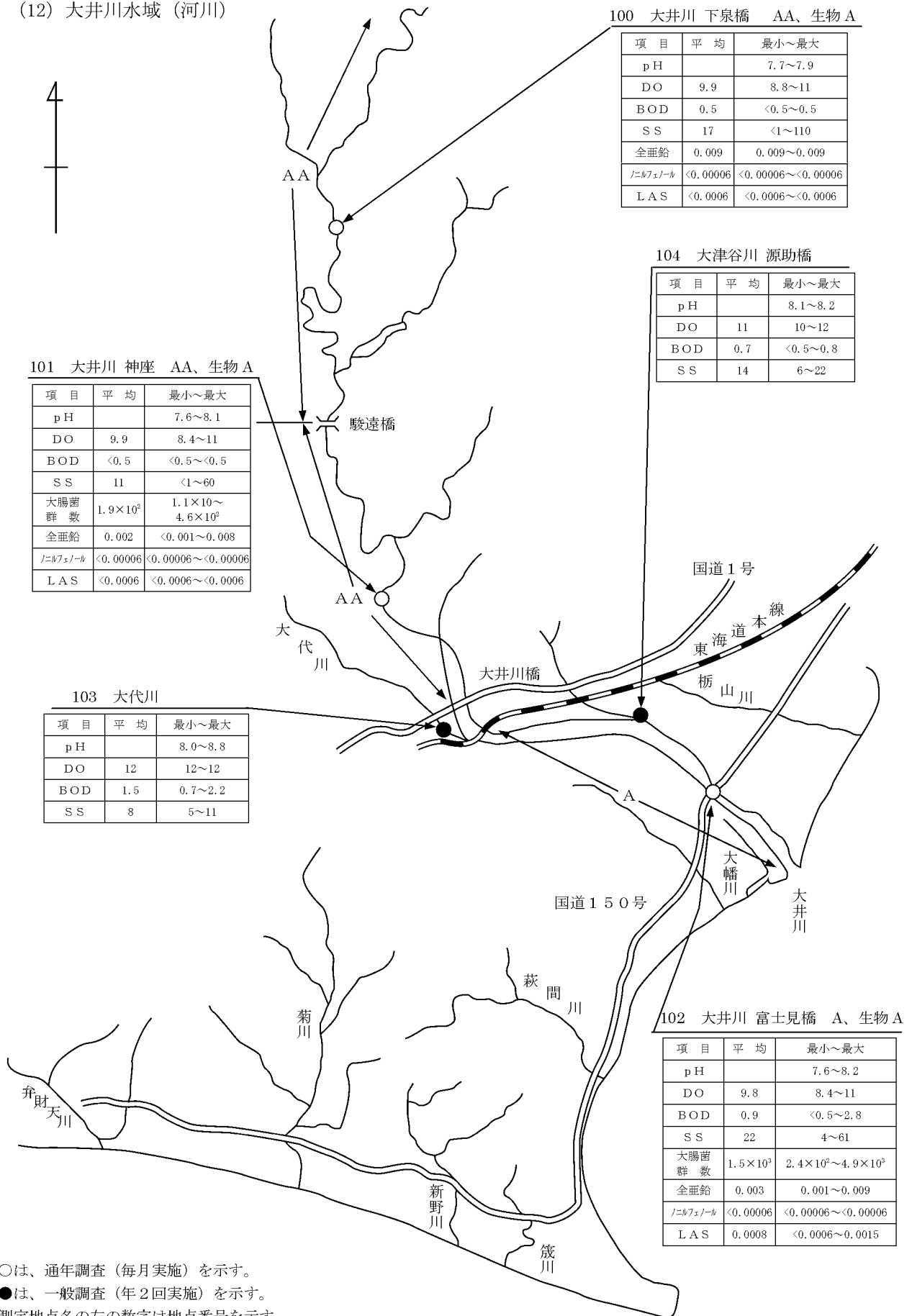
測定地点名の左の数字は地点番号を示す。

測定地点名の右のA～D、生物A～Bは、環境基準類型を示す。

() 付の測定地点は補助地点を示す。

最小～最大は日間平均値ではなく各測定値の最小～最大。

(12) 大井川水域 (河川)



101 大井川 神座 AA、生物 A

項目	平均	最小～最大
pH		7.6～8.1
DO	9.9	8.4～11
BOD	<0.5	<0.5～<0.5
SS	11	<1～60
大腸菌群数	1.9×10^5	$1.1 \times 10^5 \sim 4.6 \times 10^5$
全亜鉛	0.002	<0.001～0.008
ニルフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	<0.0006	<0.0006～<0.0006

103 大代川

項目	平均	最小～最大
pH		8.0～8.8
DO	12	12～12
BOD	1.5	0.7～2.2
SS	8	5～11

100 大井川 下泉橋 AA、生物 A

項目	平均	最小～最大
pH		7.7～7.9
DO	9.9	8.8～11
BOD	0.5	<0.5～0.5
SS	17	<1～110
全亜鉛	0.009	0.009～0.009
ニルフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	<0.0006	<0.0006～<0.0006

104 大津谷川 源助橋

項目	平均	最小～最大
pH		8.1～8.2
DO	11	10～12
BOD	0.7	<0.5～0.8
SS	14	6～22

102 大井川 富士見橋 A、生物 A

項目	平均	最小～最大
pH		7.6～8.2
DO	9.8	8.4～11
BOD	0.9	<0.5～2.8
SS	22	4～61
大腸菌群数	1.5×10^5	$2.4 \times 10^5 \sim 4.9 \times 10^5$
全亜鉛	0.003	0.001～0.009
ニルフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	0.0008	<0.0006～0.0015

○は、通年調査 (毎月実施) を示す。

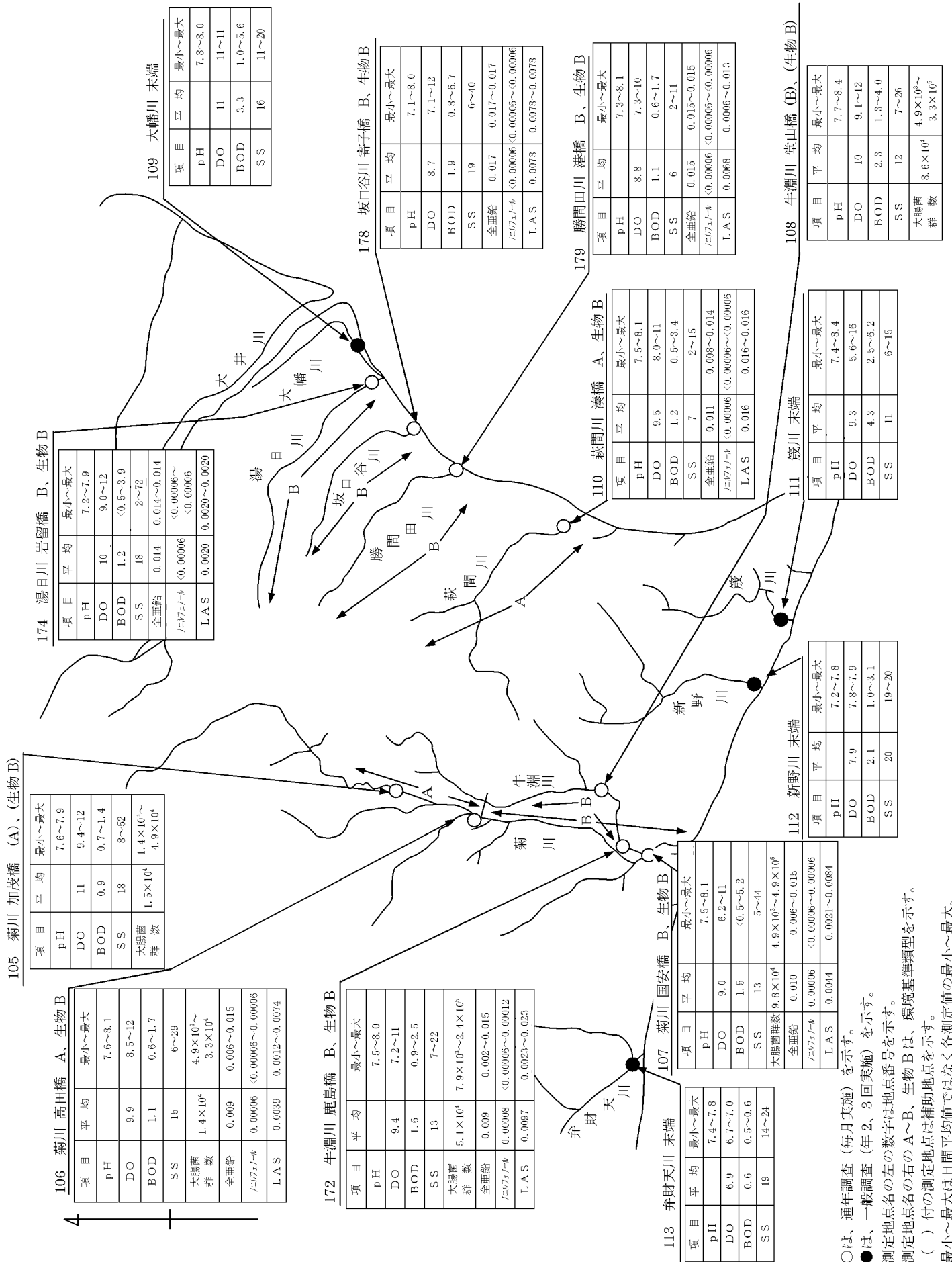
●は、一般調査 (年2回実施) を示す。

測定地点名の左の数字は地点番号を示す。

測定地点名の右の AA～A、生物 A は、環境基準類型を示す。

最小～最大は日間平均値ではなく各測定値の最小～最大。

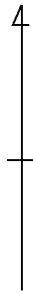
(13) 榛南小笠水域 (河川)



○は、通年調査 (毎月実施) を示す。
 ●は、一般調査 (年2、3回実施) を示す。
 測定地点名の左の数字は地点番号を示す。
 測定地点名の右のA~B、生物Bは、環境基準類型を示す。
 () 付の測定地点は補助地点を示す。
 最小~最大は日間平均値ではなく各測定値の最小~最大。

(14) 太田川水域 (河川)

○は、通年調査 (毎月実施) を示す。
 ●は、一般調査 (年2回実施) を示す。
 測定地点名の左の数字は地点番号を示す。
 測定地点名の右のA~C、生物Bは、環境基準類型を示す。
 () 付きの測定地点は補助地点を示す。
 最小~最大は日間平均値ではなく各測定値の最小~最大。



176 逆川 逆川橋 (C)、(生物B)

項目	平均	最小~最大
pH		8.0~8.3
DO	9.8	8.5~11
BOD	2.2	1.7~2.7
SS	29	9~49

175 逆川 鞍下橋 A、生物B

項目	平均	最小~最大
pH		7.4~8.3
DO	10	8.2~11
BOD	0.5	<0.5~0.8
SS	24	1~77
全亜鉛	0.019	0.004~0.034
ニッケル	<0.00006	<0.00006~<0.00006
LAS	0.0014	0.0014~0.0014

173 敷地川 向笠2号橋 B、生物B

項目	平均	最小~最大
pH		7.3~8.2
DO	10	7.8~14
BOD	3.4	0.6~27
SS	13	4~27
全亜鉛	0.022	0.016~0.028
ニッケル	0.00006	0.00006~0.00006
LAS	0.011	0.011~0.011

114 太田川 二瀬(西)橋 A、生物B

項目	平均	最小~最大
pH		7.2~8.4
DO	9.9	8.3~13
BOD	0.8	<0.5~2.3
SS	9	2~28
全亜鉛	0.004	0.004~0.004
ニッケル	<0.00006	<0.00006~<0.00006
LAS	<0.0006	<0.0006~<0.0006

177 逆川 曙橋 C、生物B

項目	平均	最小~最大
pH		7.2~7.8
DO	8.7	7.1~10
BOD	1.5	0.7~2.7
SS	15	6~30
全亜鉛	0.032	0.032~0.032
ニッケル	<0.00006	<0.00006~<0.00006
LAS	0.0032	0.0032~0.0032

116 原野谷川 二瀬(東)橋 A、生物B

項目	平均	最小~最大
pH		7.2~7.8
DO	8.1	7.0~9.2
BOD	1.6	0.6~5.2
SS	13	5~26
全亜鉛	0.018	0.018~0.018
ニッケル	<0.00006	<0.00006~<0.00006
LAS	0.0012	0.0012~0.0012

117 仿僧川 ゴルフ場入口 (C)、(生物B)

項目	平均	最小~最大
pH		7.0~7.5
DO	6.8	5.9~7.6
BOD	1.5	0.8~2.2
SS	13	9~16

119 今之浦川 於福橋

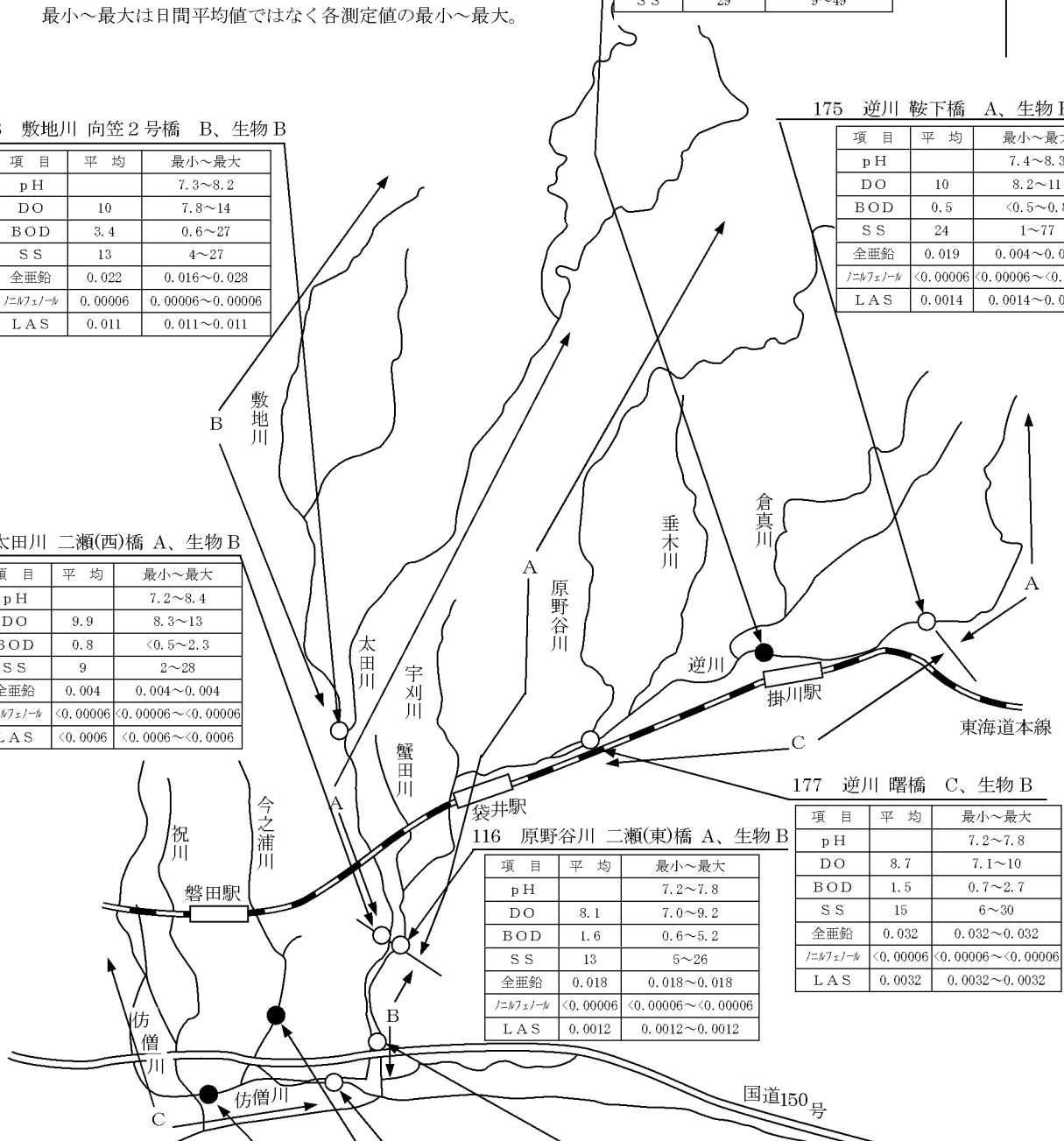
項目	平均	最小~最大
pH		7.1~7.4
DO	6.8	6.2~7.4
BOD	1.7	1.1~2.2
SS	29	22~36

118 仿僧川 東橋 C、生物B

項目	平均	最小~最大
pH		7.1~7.6
DO	7.1	5.9~8.7
BOD	1.0	0.5~2.0
SS	15	8~26
全亜鉛	0.016	0.016~0.016
ニッケル	<0.00006	<0.00006~<0.00006
LAS	<0.0006	<0.0006~<0.0006

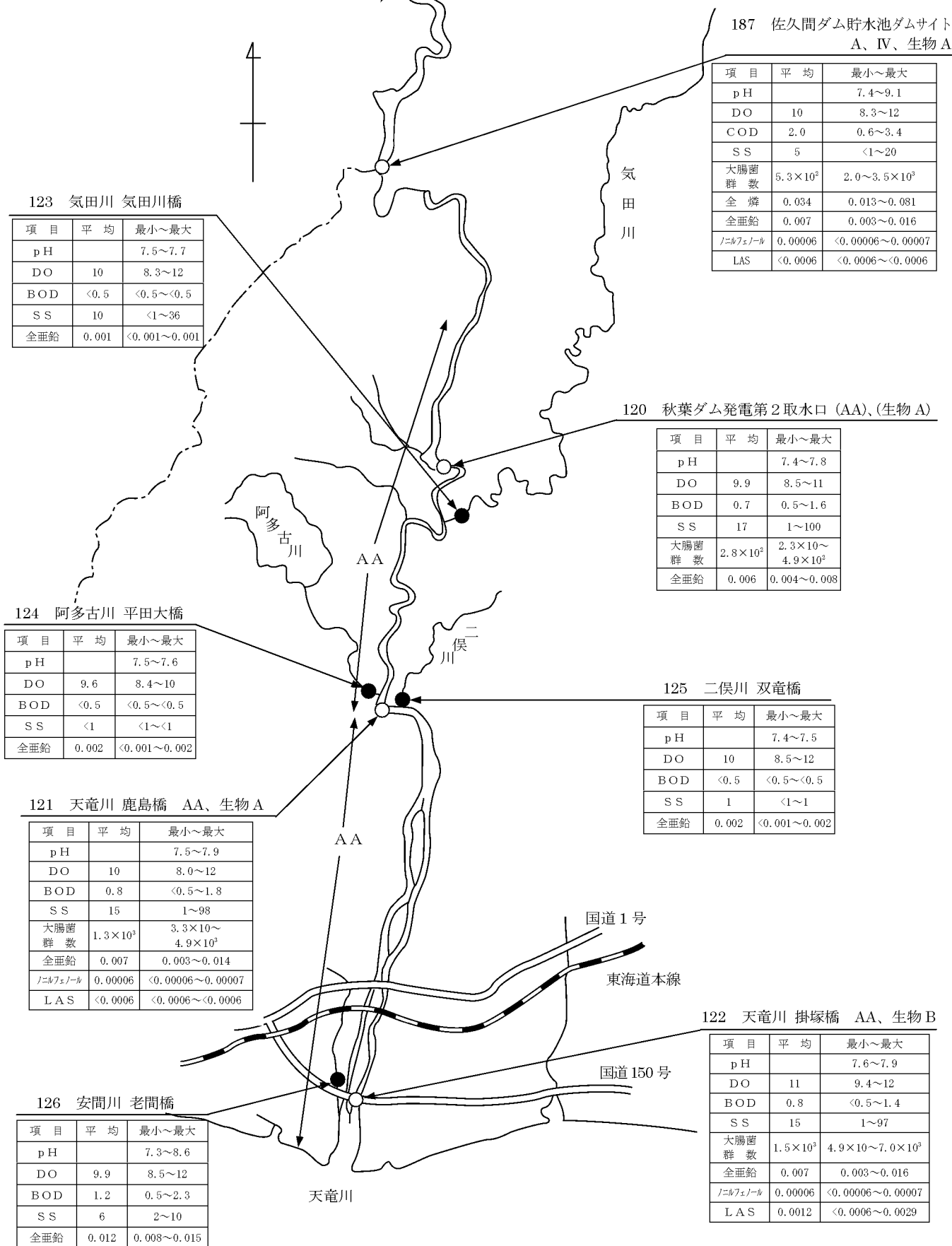
115 太田川 豊浜橋 B、生物B

項目	平均	最小~最大
pH		7.2~8.0
DO	8.0	7.1~10
BOD	1.1	<0.5~2.4
SS	14	6~28
全亜鉛	0.007	0.007~0.007
ニッケル	<0.00006	<0.00006~<0.00006
LAS	<0.0006	<0.0006~<0.0006



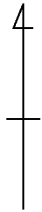
(15) 天竜川水域 (河川・湖沼)

○は、通年調査 (毎月実施) を示す。
 ●は、一般調査 (年 4、6 回実施) を示す。
 測定地点名の左の数字は地点番号を示す。
 測定地点名の右の AA~A、IV、生物 A~B は、環境基準類型を示す。
 () 付の測定地点は補助地点を示す。
 最小~最大は日間平均値ではなく各測定値の最小~最大。



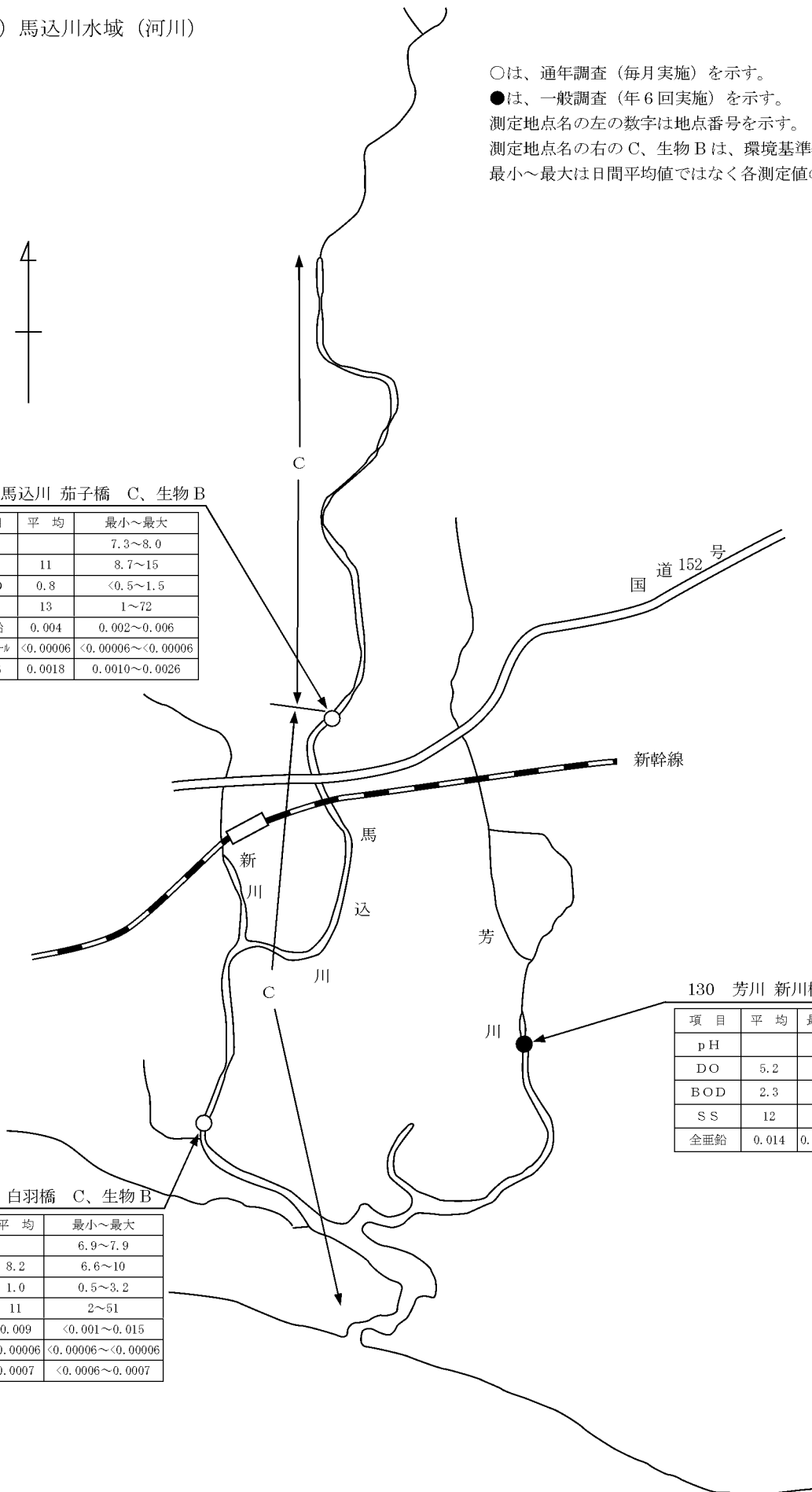
(16) 馬込川水域 (河川)

○は、通年調査 (毎月実施) を示す。
 ●は、一般調査 (年6回実施) を示す。
 測定地点名の左の数字は地点番号を示す。
 測定地点名の右の C、生物 B は、環境基準類型を示す。
 最小～最大は日間平均値ではなく各測定値の最小～最大。



127 馬込川 茄子橋 C、生物 B

項目	平均	最小～最大
pH		7.3～8.0
DO	11	8.7～15
BOD	0.8	<0.5～1.5
SS	13	1～72
全亜鉛	0.004	0.002～0.006
ノニルフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	0.0018	0.0010～0.0026



130 芳川 新川橋

項目	平均	最小～最大
pH		6.9～7.5
DO	5.2	3.7～6.7
BOD	2.3	0.7～3.6
SS	12	4～35
全亜鉛	0.014	0.011～0.017

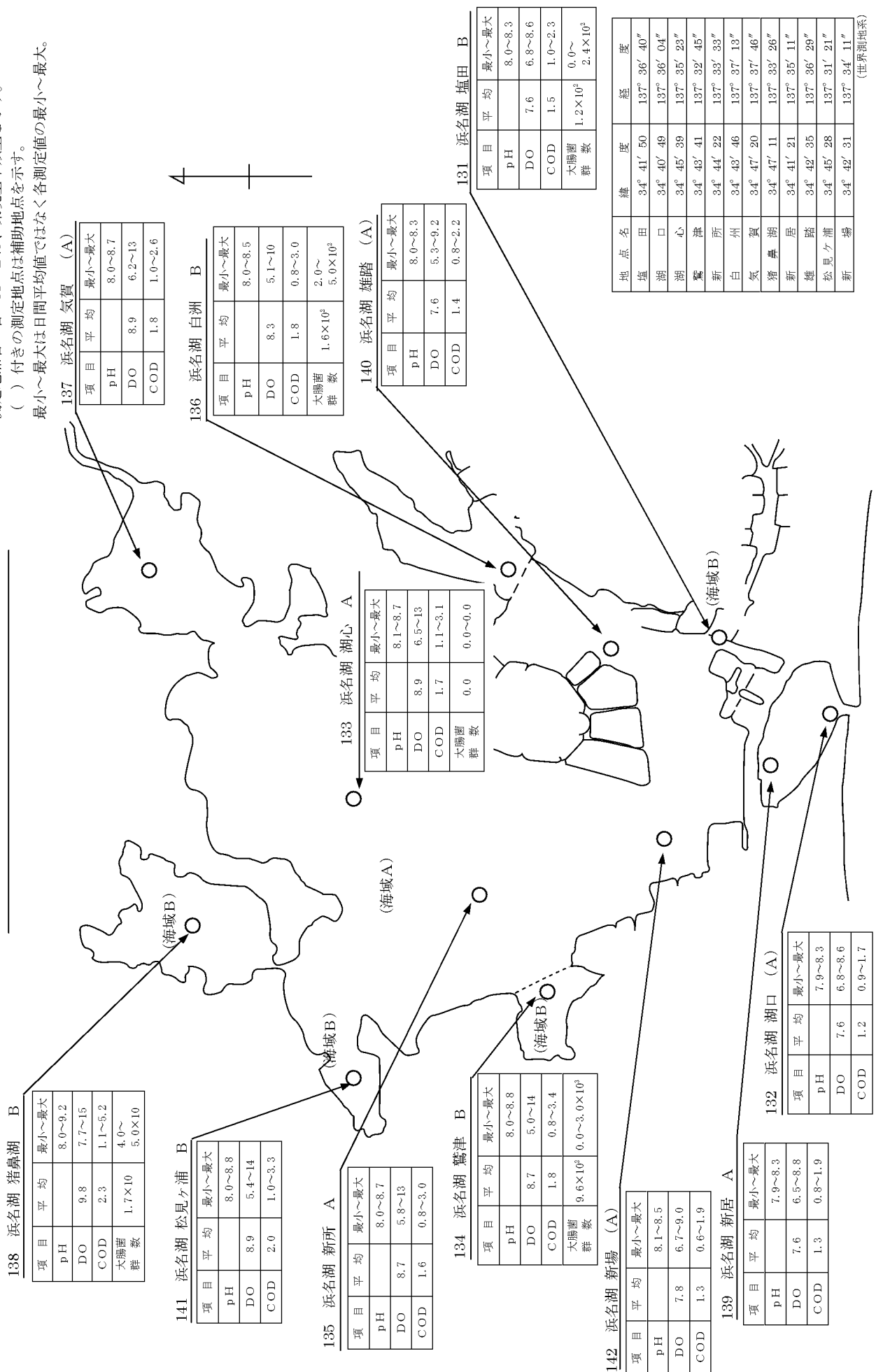
128 馬込川 白羽橋 C、生物 B

項目	平均	最小～最大
pH		6.9～7.9
DO	8.2	6.6～10
BOD	1.0	0.5～3.2
SS	11	2～51
全亜鉛	0.009	<0.001～0.015
ノニルフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	0.0007	<0.0006～0.0007

(17) 浜名湖水域 (海域) pH、DO、COD、大腸菌群数

○は、通年調査 (毎月実施) を示す。
 測定地点名の左の数字は地点番号を示す。
 測定地点名の右のA～Bは、環境基準類型を示す。
 () 付きの測定地点は補助地点ではなく各測定値の最小～最大。
 最小～最大は日間平均値ではなく各測定値の最小～最大。

浜名湖水域 (海域) pH、DO、COD、大腸菌群数



浜名湖水域（海域）全窒素、全磷

○は、通年調査（毎月実施）を示す。
測定地点名の左の数字は地点番号を示す。
測定地点名の右のⅡ～Ⅲは、環境基準類型を示す。
平均値、最小～最大は上層の値。
最小～最大は日間平均値ではなく各測定値の最小～最大。

浜名湖水域（海域）全窒素、全磷

138 浜名湖 猪鼻湖 Ⅲ

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.81	0.22～3.1
全磷	0.040	0.013～0.12

141 浜名湖 松見ヶ浦

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.34	0.17～0.94
全磷	0.026	0.011～0.052

135 浜名湖 新所 Ⅲ

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.26	0.15～0.42
全磷	0.021	0.010～0.041

134 浜名湖 鷺津

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.41	0.26～0.77
全磷	0.033	0.018～0.059

142 浜名湖 新場 Ⅱ

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.19	0.12～0.34
全磷	0.019	0.013～0.026

139 浜名湖 新居 Ⅱ

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.18	0.11～0.35
全磷	0.020	0.014～0.026

132 浜名湖 湖口

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.15	0.10～0.28
全磷	0.018	0.013～0.030

133 浜名湖 湖心 Ⅲ

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.28	0.18～0.49
全磷	0.022	0.011～0.039

136 浜名湖 白洲 Ⅲ

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.85	0.43～1.9
全磷	0.053	0.023～0.10

140 浜名湖 雄踏 Ⅲ

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.40	0.12～0.98
全磷	0.033	0.016～0.081

131 浜名湖 塩田

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.26	0.11～0.61
全磷	0.029	0.016～0.071

浜名湖 (イ)

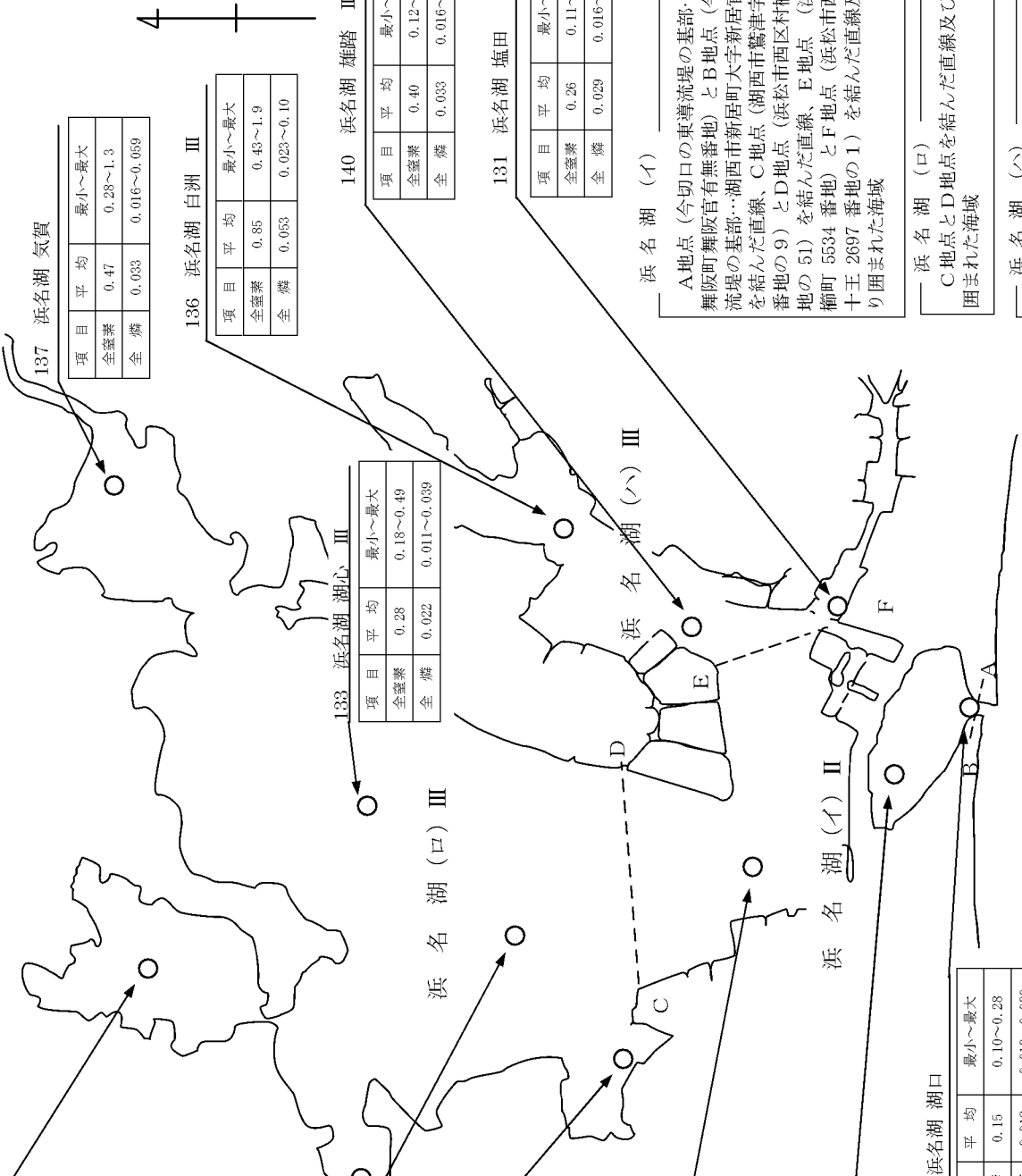
A地点（今切口の東導流堤の基部…浜松市西区舞阪町舞阪官有無番地）とB地点（今切口の西導流堤の基部…湖西市新居町大字新居官有無番地）を結んだ直線、C地点（湖西市鷺津字大畑ヶ2499番地の9）とD地点（浜松市西区村柳町4226番地の51）を結んだ直線、E地点（浜松市西区村柳町5534番地）とF地点（浜松市西区舞阪町字十王2697番地の1）を結んだ直線及び陸岸により囲まれた海域

浜名湖 (ロ)

C地点とD地点を結んだ直線及び陸岸により囲まれた海域

浜名湖 (ハ)

E地点とF地点を結んだ直線及び陸岸により囲まれた海域



○は、通年調査（毎月実施）を示す。
 測定地点名の左の数字は地点番号を示す。
 測定地点名の右の生物特A～生物Aは、環境基準類型を示す。
 () 付きの測定地点は補助地点を示す。
 最小～最大は日間平均値ではなく各測定値の最小～最大。

浜名湖水域（海域）全亜鉛、ノニルフェノール、LAS、底層溶存酸素量

138 浜名湖 猪鼻湖 生物A

項目	平均	最小～最大
全亜鉛	0.003	0.002～0.003
ノニルフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	<0.0006	<0.0006～<0.0006
底層DO	5.8	1.1～9.5

141 浜名湖 松見ヶ浦 生物A

項目	平均	最小～最大
全亜鉛	0.003	0.003～0.003
ノニルフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	<0.0006	<0.0006～<0.0006
底層DO	6.2	1.5～9.5

135 浜名湖 新所 生物特A

項目	平均	最小～最大
全亜鉛	0.003	0.003～0.003
ノニルフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	<0.0006	<0.0006～<0.0006
底層DO	7.6	5.5～9.4

134 浜名湖 鷺津 生物特A

項目	平均	最小～最大
全亜鉛	0.006	0.003～0.008
ノニルフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	0.0009	0.0009～0.0009
底層DO	7.3	4.7～9.1

142 浜名湖 新場 (生物特A)

項目	平均	最小～最大
LAS	<0.0006	<0.0006～<0.0006
底層DO	7.7	6.7～8.4

139 浜名湖 新居 生物特A

項目	平均	最小～最大
全亜鉛	0.003	0.003～0.003
ノニルフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	<0.0006	<0.0006～<0.0006
底層DO	7.5	6.8～8.3

132 浜名湖 湖口

項目	平均	最小～最大
底層DO	7.5	6.8～8.3

133 浜名湖 湖心 生物A

項目	平均	最小～最大
全亜鉛	0.003	0.002～0.004
ノニルフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	<0.0006	<0.0006～<0.0006
底層DO	5.6	<0.5～9.5

浜名湖

浜名湖

136 浜名湖 白洲 生物特A

項目	平均	最小～最大
全亜鉛	0.004	0.003～0.004
ノニルフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	<0.0006	<0.0006～<0.0006
底層DO	7.3	4.4～9.5

140 浜名湖 雄踏

項目	平均	最小～最大
底層DO	7.3	5.3～8.6

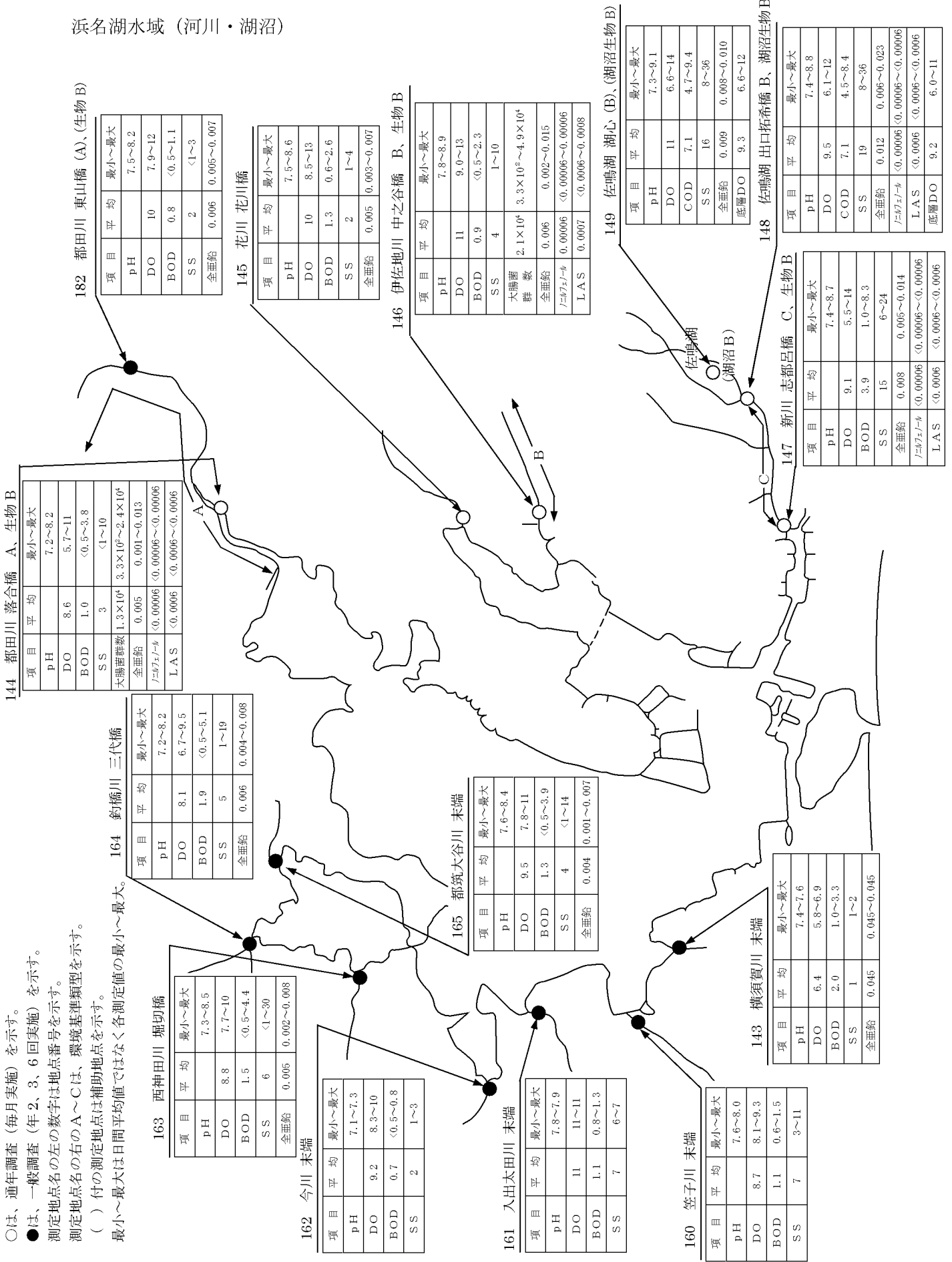
131 浜名湖 塩田 生物特A

項目	平均	最小～最大
全亜鉛	0.002	0.001～0.003
ノニルフェノール	<0.00006	<0.00006～<0.00006
LAS	0.0008	<0.0006～0.0009
底層DO	7.5	6.7～8.5

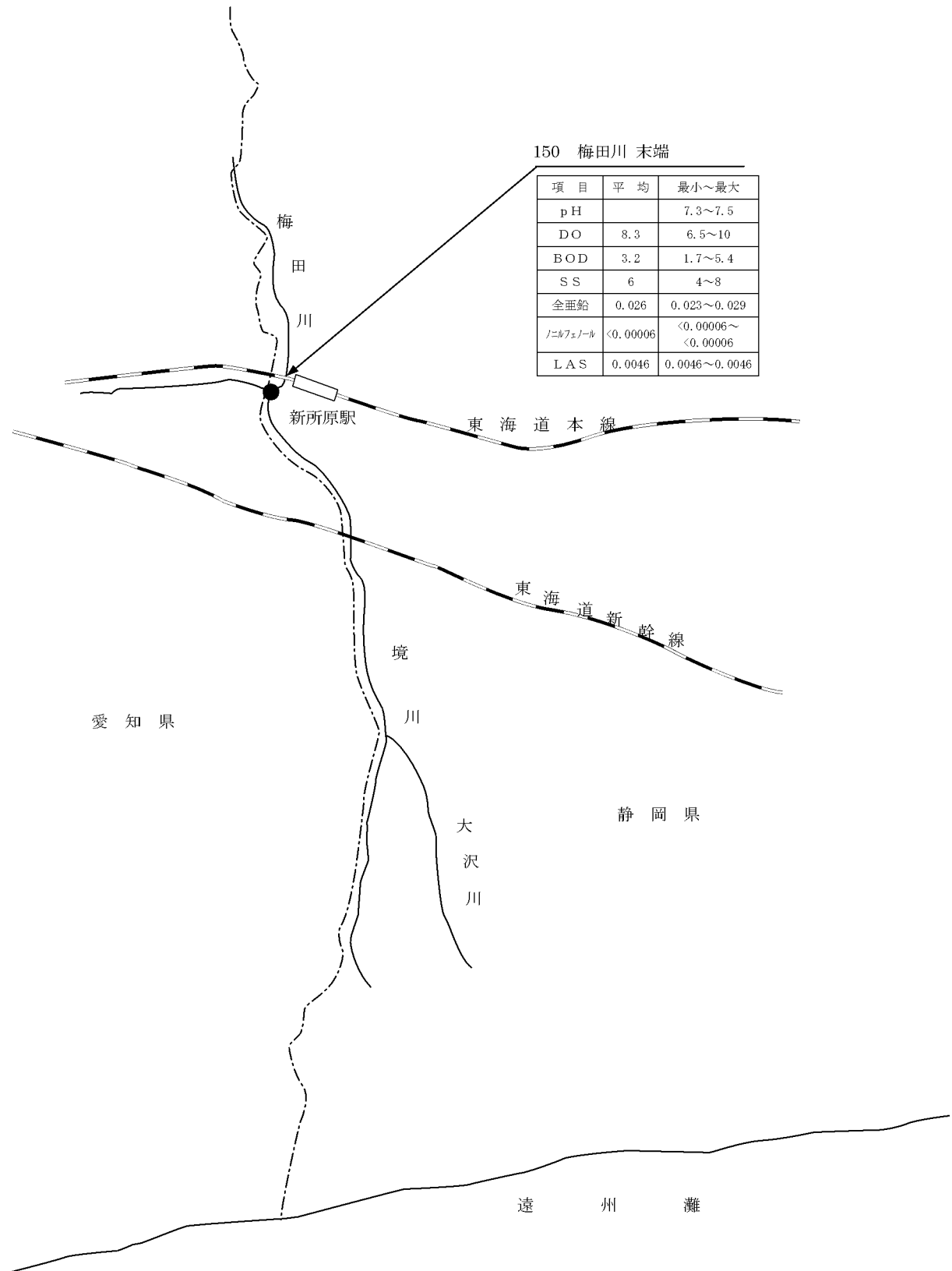
地点名	緯度	経度
塩田	34° 41' 50"	137° 36' 40"
湖心	34° 45' 39"	137° 35' 23"
鷺津	34° 43' 41"	137° 32' 45"
新所	34° 44' 22"	137° 33' 33"
白洲	34° 43' 46"	137° 37' 13"
猪鼻湖	34° 47' 11"	137° 33' 26"
新居	34° 41' 21"	137° 35' 11"
松見ヶ浦	34° 45' 28"	137° 31' 21"
新場	34° 42' 31"	137° 34' 11"

(世界測地系)

浜名湖水域 (河川・湖沼)



(18) 梅田川水域 (河川)



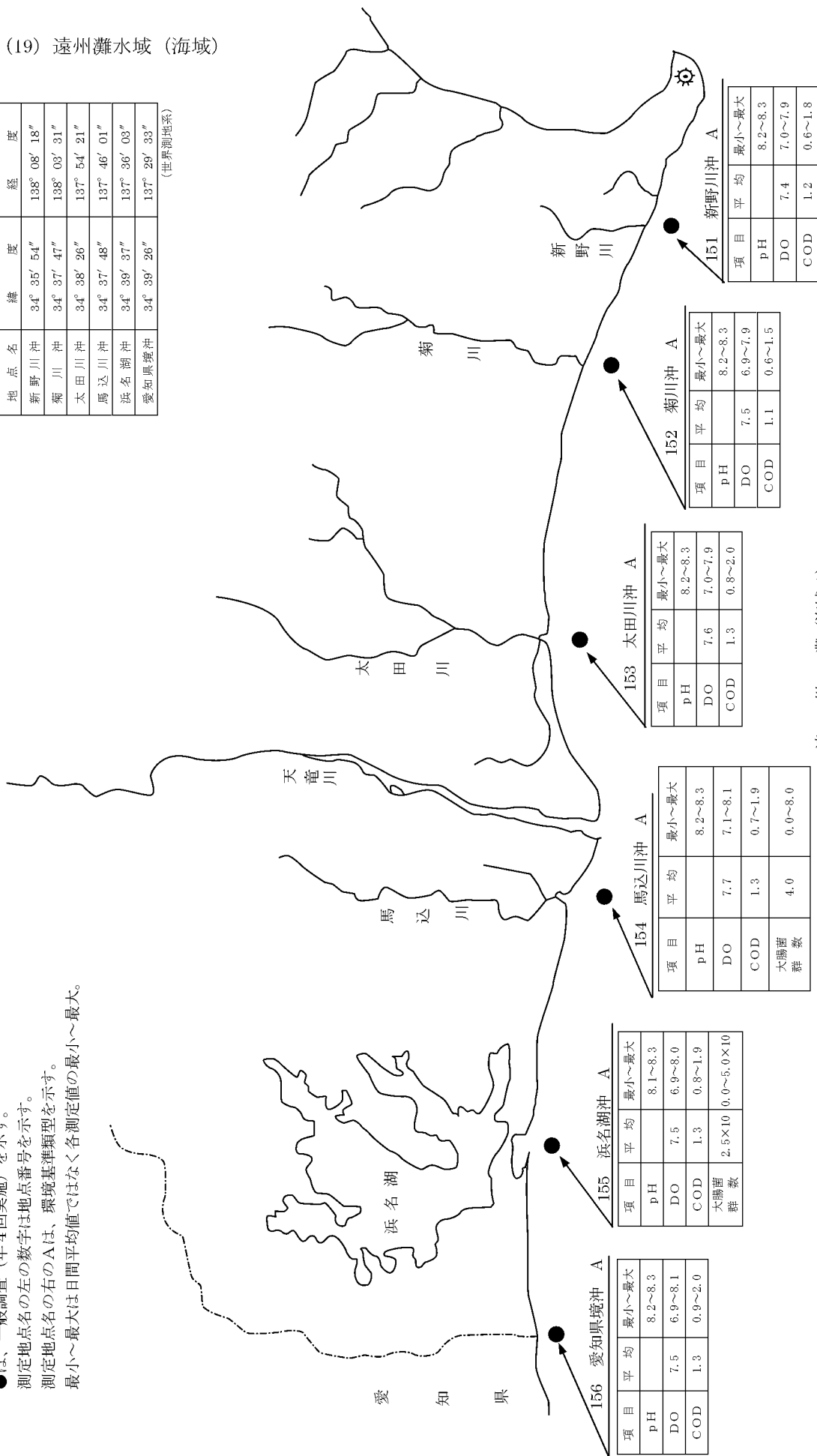
●は、一般調査（年4回実施）を示す。
 測定地点名の左の数字は地点番号を示す。
 最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。

(19) 遠州灘水域 (海域)

地点名	緯度	経度
新野川沖	34° 35' 54"	138° 08' 18"
菊川沖	34° 37' 47"	138° 03' 31"
太田川沖	34° 38' 26"	137° 54' 21"
馬込川沖	34° 37' 48"	137° 46' 01"
浜名湖沖	34° 39' 37"	137° 36' 03"
愛知県境沖	34° 39' 26"	137° 29' 33"

(世界測地系)

●は、一般調査 (年4回実施) を示す。
 測定地点名の左の数字は地点番号を示す。
 測定地点名の右のAは、環境基準類型を示す。
 最小～最大は日間平均値ではなく各測定値の最小～最大。



156 愛知県境沖 A

項目	平均	最小～最大
pH		8.2~8.3
DO	7.5	6.9~8.1
COD	1.3	0.9~2.0

155 浜名湖沖 A

項目	平均	最小～最大
pH		8.1~8.3
DO	7.5	6.9~8.0
COD	1.3	0.8~1.9
大腸菌群数	2.5×10	0.0~5.0×10

154 馬込川沖 A

項目	平均	最小～最大
pH		8.2~8.3
DO	7.7	7.1~8.1
COD	1.3	0.7~1.9
大腸菌群数	4.0	0.0~8.0

153 太田川沖 A

項目	平均	最小～最大
pH		8.2~8.3
DO	7.6	7.0~7.9
COD	1.3	0.8~2.0

152 菊川沖 A

項目	平均	最小～最大
pH		8.2~8.3
DO	7.5	6.9~7.9
COD	1.1	0.6~1.5

151 新野川沖 A

項目	平均	最小～最大
pH		8.2~8.3
DO	7.4	7.0~7.9
COD	1.2	0.6~1.8

遠州灘 (海域A)

3 地下水の水質汚濁の状況

(1) 地下水の監視

県、国土交通省、水質汚濁防止法の政令市（静岡市、浜松市、沼津市、富士市）が、水質汚濁防止法第16条に規定する地下水の水質測定計画に基づき（表IV-10）、環境モニタリング45地点（図IV-2）及び定点モニタリング35地区125地点（図IV-3）の計170地点において監視した。

なお、環境モニタリングでは、環境基準の項目のうちPCB及びアルキル水銀を除く26項目を測定し、定点モニタリングでは、これまでの測定で環境基準の未達成項目を測定した。

表IV-10 令和元年度地下水質測定実績総括表 () は県実施分

調査区分	採水 地点数	年間採水 延回数	検体数	調査担当機関
環境モニタリング (10 kmメッシュ)	45 (17)	45 (17)	1170 (442)	静岡県、国土交通省、静岡市、 浜松市、沼津市、富士市
定点モニタリング (35 地区)	125 (64)	125 (64)	295 (86)	静岡県、静岡市、浜松市、 沼津市、富士市
計	170 (81)	170 (81)	1465 (528)	

(注) 環境モニタリング：県下全域を10kmメッシュに分割し、メッシュ内の地点で監視する。
 定点モニタリング：これまでに汚染が判明した地区への対応として定点で継続監視する。

(2) 環境基準

環境基準は表IV-11のとおりである。

表IV-11 地下水の水質汚濁に係る環境基準

項目	環境基準値 (mg/L)	報告下限値 (mg/L)
カドミウム	0.003以下	0.0003
全シアン	検出されないこと	0.1
鉛	0.01以下	0.005
六価クロム	0.05以下	0.02
砒素	0.01以下	0.005
総水銀	0.0005以下	0.0005
ジクロロメタン	0.02以下	0.002
四塩化炭素	0.002以下	0.0002
クロロエチレン	0.002以下	0.0002
1,2-ジクロロエタン	0.004以下	0.0004
1,1-ジクロロエチレン	0.1以下	0.01

項 目	環境基準値 (mg/L)	報告下限値 (mg/L)
1,2-ジクロロエチレン	0.04以下	0.004
1,1,1-トリクロロエタン	1以下	0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	0.006以下	0.0006
トリクロロエチレン	0.01以下	0.001
テトラクロロエチレン	0.01以下	0.0005
1,3-ジクロロプロペン	0.002以下	0.0002
チウラム	0.006以下	0.0006
シマジン	0.003以下	0.0003
チオベンカルブ	0.02以下	0.002
ベンゼン	0.01以下	0.001
セレン	0.01以下	0.002
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10以下	0.02
ふっ素	0.8以下	0.08
ほう素	1以下	0.1
1,4-ジオキサン	0.05以下	0.005

(注) PCB及びアルキル水銀は除く。

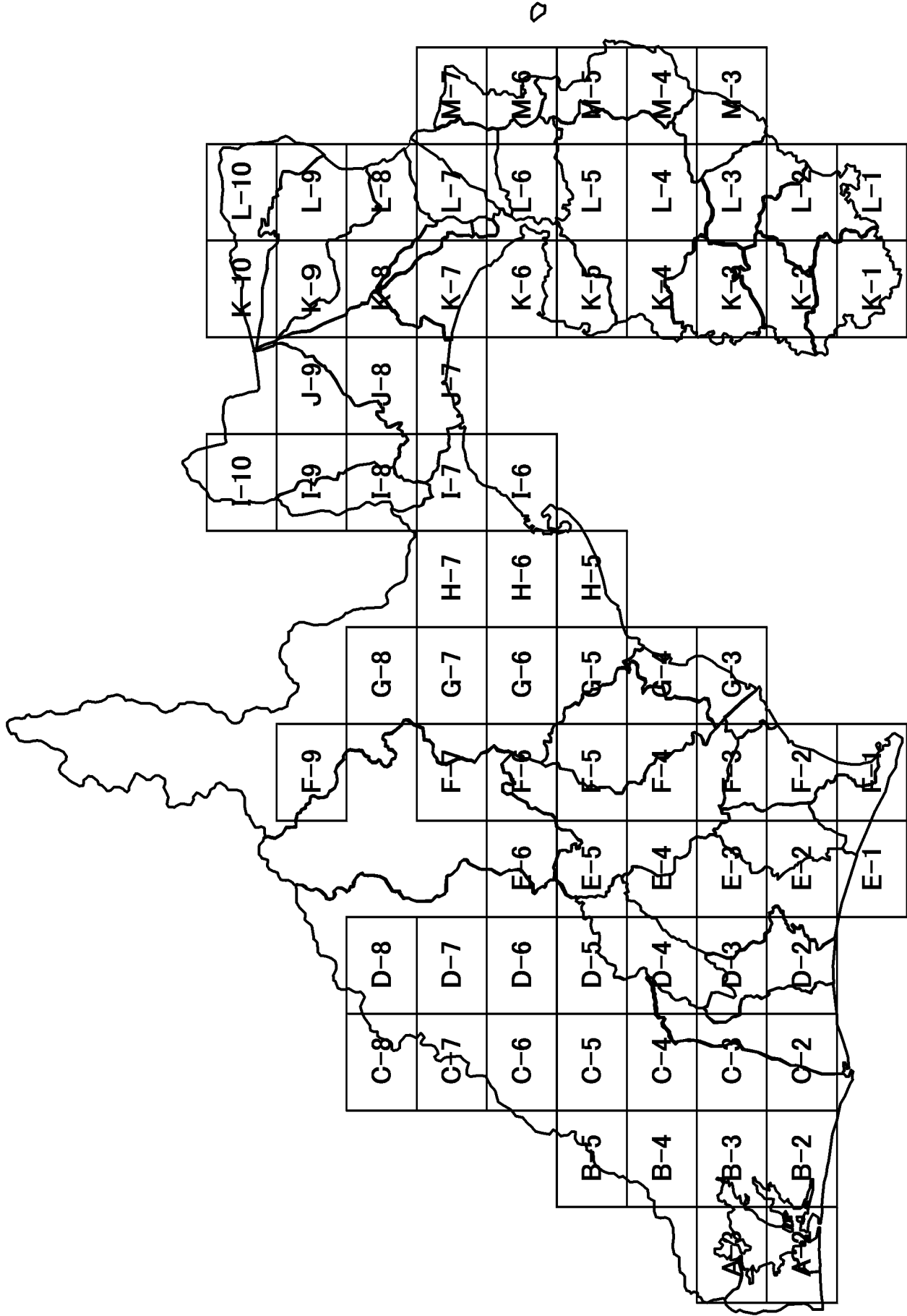
(3) 測定値及び環境基準の達成状況

ア 環境モニタリング

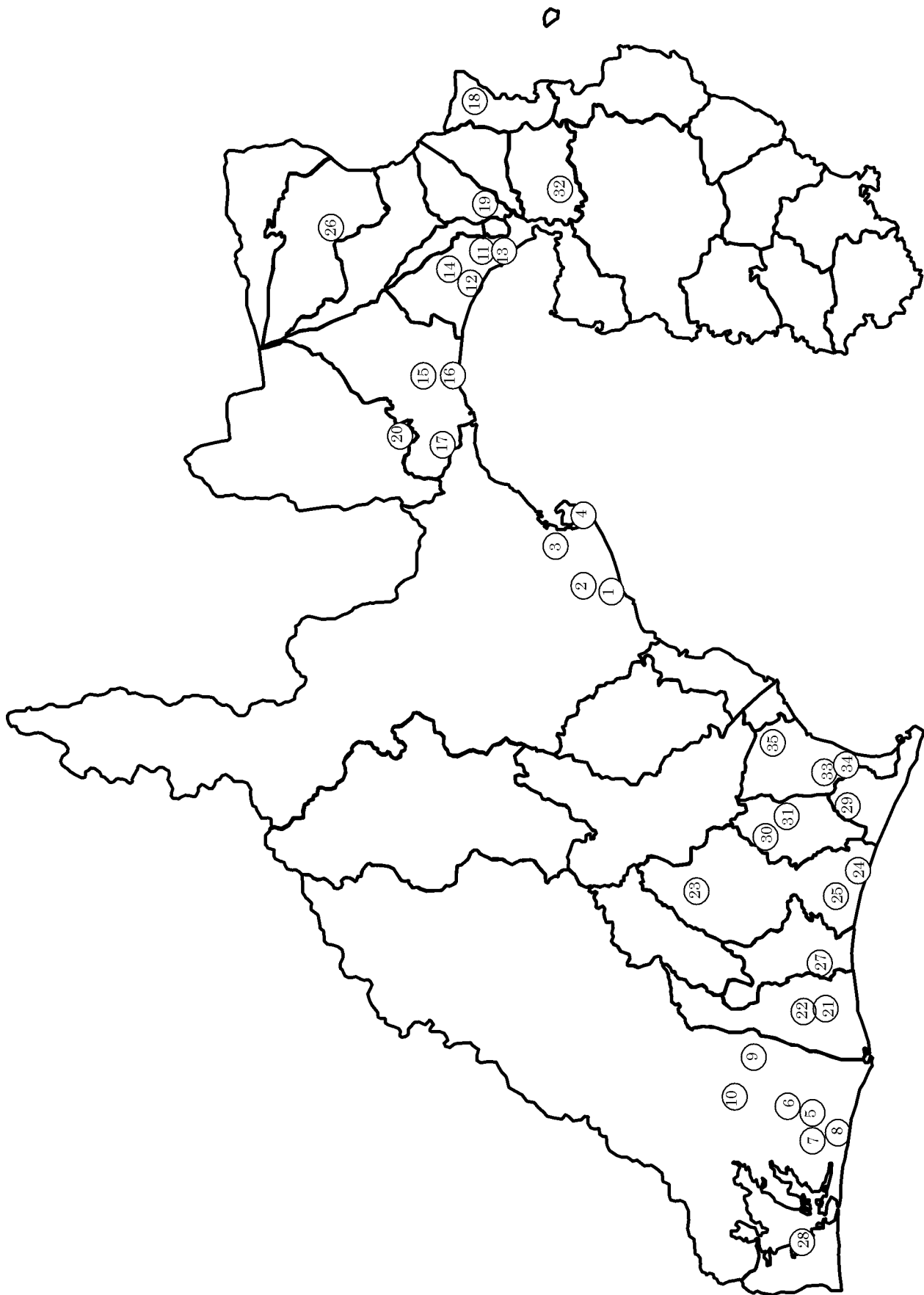
45地点で実施した結果、沼津市新沢田(K-7)及び足高(K-7)でトリクロロエチレンが、湖西市白須賀(A-2)で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が環境基準を超過した(表IV-12)。

イ 定点モニタリング

35地区125地点で実施した結果、表IV-13のとおり、21地区31地点で環境基準を達成せず、各項目における環境基準を達成しなかった地区数及び地点数は、表IV-14のとおりであった。また、一時達成中の事例は、令和元年度の定点モニタリング調査実施35地区のうち14地区であった(表IV-15)。



図IV-2 環境モニタリング区域(10kmメッシュ)(注)マス中の記号-番号は表IV-12における区域番号を表す。



図IV-3 定点モニタリング地区 (注) 丸数字は、表IV-13における地区番号を表す。

表IV-12 令和元年度環境モニタリング調査の測定結果

網掛け部分は環境基準を超過していることを示す。

表中の「-」は表IV-11の報告下限値未満であることを示す。

区域 番号	地点名	調査 担当 機関	井戸 区分	環境 基準 用途	調 査 項 目								
					カドミウム	全シアン	鉛	六価 クロム	砒素	総水 銀	ジクロロ メタン	四塩 化炭 素	クロロエ チレン
					0.003以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.01以下	0.0005以下	0.02以下	0.002以下	0.002以下
A-2	湖西市白須賀	静岡県	浅	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A-3	浜松市北区三ヶ日町都筑	浜松市	深	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B-2	浜松市中区常磐町	浜松市	深	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B-2	浜松市西区志都呂町	浜松市	深	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B-3	浜松市西区桜台	浜松市	深	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B-3	浜松市西区西山町	浜松市	深	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B-4	浜松市北区引佐町井伊谷	浜松市	深	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B-5	浜松市天竜区神沢	浜松市	浅	一般飲用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C-2	磐田市豊岡	静岡県	不明	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C-2	浜松市南区金折町	浜松市	深	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C-2	浜松市南区東町	国土交通省	深	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C-3	浜松市東区小池町	浜松市	不明	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C-3	浜松市浜北区高畑	浜松市	不明	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C-4	浜松市天竜区石神	浜松市	浅	一般飲用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C-5	浜松市天竜区龍山町大嶺	浜松市	深	水道水源	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D-3	森町中川	静岡県	深	生活用 工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E-2	掛川市大渕	静岡県	浅	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E-4	掛川市黒俣	静岡県	浅	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F-1	御前崎市白羽	静岡県	浅	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F-7	川根本町田代	静岡県	浅	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G-4	藤枝市高洲	静岡県	深	水道水源	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G-5	静岡市駿河区小坂	静岡市	深	一般飲用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G-5	静岡市駿河区丸子	静岡市	不明	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G-6	静岡市葵区足久保口組	静岡市	浅	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G-8	静岡市葵区有東木	静岡市	不明	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H-5	静岡市葵区一番町	静岡市	不明	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H-5	静岡市駿河区西脇	静岡市	浅	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H-5	静岡市清水区村松	静岡市	不明	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H-6	静岡市清水区入江	静岡市	浅	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I-10	富士宮市猪之頭	静岡県	深	一般飲用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I-8	富士宮市内房	静岡県	浅	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I-8	富士市北松野	富士市	深	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J-8	富士市松岡	富士市	深	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J-8	富士市中里	富士市	深	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-

と 測 定 値

単位：mg/L

1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ふっ素	ほう素	1,4-ジオキサン
0.004以下	0.1以下	0.04以下	1以下	0.008以下	0.01以下	0.01以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下	0.02以下	0.01以下	0.01以下	10以下	0.8以下	1以下	0.05以下
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.2	0.09	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.1	0.08	0.1	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.7	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.9	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.19	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.73	0.08	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05	0.11	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.13	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.4	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.45	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.27	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.04	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	0.10	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.9	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.8	0.14	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.92	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3	-	0.2	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.5	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0	0.09	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.41	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.5	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.66	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.22	0.09	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.77	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.1	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.79	-	-	-

区域 番号	地点名	調査 担当 機関	井戸 区分	環境 基準 用途	調 査 項 目								
					カドミウム	全シアン	鉛	六価 クロム	砒素	総水 銀	ジクロロ メタン	四塩 化炭素	クロロエチ レン
					0.003以下	検出されなければ可 き	0.01以下	0.05以下	0.01以下	0.0005以下	0.02以下	0.002以下	0.002以下
J-8	富士市永田町	富士市	不明	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J-9	富士宮市山宮	静岡県	深	一般飲用	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K-2	南伊豆町伊浜	静岡県	深	水道水源	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K-7	沼津市新沢田	沼津市	深	工業用	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K-7	沼津市足高	沼津市	深	生活用	—	—	—	—	—	—	—	—	—
L-1	南伊豆町手石	静岡県	不明	生活用	—	—	—	—	—	—	—	—	—
L-5	伊豆市大平柿木	静岡県	深	一般飲用	—	—	—	—	—	—	—	—	—
L-7	清水町八幡	静岡県	不明	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
L-7	沼津市大岡	沼津市	浅	生活用	—	—	—	—	—	—	—	—	—
L-9	御殿場市神場	静岡県	深	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M-6	伊豆の国市長者原	静岡県	深	水道水源	—	—	—	—	—	—	—	—	—

と 測 定 値													単位：mg/L			
1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ふっ素	ほう素	1,4-ジオキサソ
0.004以下	0.1以下	0.04以下	1以下	0.008以下	0.01以下	0.01以下	0.002以下	0.008以下	0.003以下	0.02以下	0.01以下	0.01以下	10以下	0.8以下	1以下	0.05以下
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.5	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.65	0.08	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.1	—	—	—
—	—	—	—	—	—	0.0014	—	—	—	—	—	—	1.4	—	—	—
—	—	—	0.0006	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.8	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.6	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.69	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.83	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.3	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.53	0.10	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.89	—	—	—

表IV-13 令和元年度定点モニタリング調査の測定結果

網掛け部分は環境基準値を超過していることを示す。

表中の「-」は表IV-11の報告下限値未満であることを示す。

地区番号	市町名	地区名	調査担当機関	地点区分	汚染	対照	調査項目	井戸区分	環境基準	調査項目と測定値 (単位: mg/L)																					
										全シアン	六価クロム	砒素	四塩化炭素	クロロエチレン	1,1-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ふっ素	ほう素									
										用途	0.05以下	0.01以下	0.002以下	0.002以下	0.1以下	0.04以下	1以下	0.01以下	0.01以下	10以下	0.8以下	1以下									
1	静岡市	新川	静岡市	○	○	○	トリクロロエチレン テトラクロロエチレン	不明	生活用																						
										深	一般飲用																				
2	静岡市	古庄	静岡市	○	○	○	砒素	深	生活用																						
										深	一般飲用																				
										深	生活用																				
3	静岡市	七ツ新屋	静岡市	○	○	○	トリクロロエチレン テトラクロロエチレン	深	生活用																						
										深	生活用																				
										浅	工業用																				
4	静岡市	三保	静岡市	○	○	○	四塩化炭素 トリクロロエチレン テトラクロロエチレン	浅	工業用				0.0003																		
										浅	生活用																				
										浅	生活用																				
5	浜松市	北部	浜松市	○	○	○	クロロエチレン 1,1-ジクロロエチレン 1,2-ジクロロエチレン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン	浅	その他																						
										浅	その他																				
										浅	生活用																				
										深	生活用																				
										浅	一般飲用																				
										浅	その他																				
6	浜松市	曳馬	浜松市	○	○	○	クロロエチレン 1,1-ジクロロエチレン 1,2-ジクロロエチレン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン	浅	その他																						
										浅	生活用				0.0006																
										浅	生活用																				
7	浜松市	高塚	浜松市	○	○	○	クロロエチレン 1,1-ジクロロエチレン 1,2-ジクロロエチレン トリクロロエチレン ふっ素 ほう素	浅	その他				0.0002											0.16	0.1						
										浅	その他																		0.10	-	
										浅	生活用																				
										不明	生活用																				
8	浜松市	小沢渡	浜松市	○	○	○	クロロエチレン 1,1-ジクロロエチレン 1,2-ジクロロエチレン トリクロロエチレン	浅	その他																						
										浅	生活用																				
										浅	生活用																				
9	浜松市	小松	浜松市	○	○	○	全シアン 六価クロム クロロエチレン 1,1-ジクロロエチレン 1,2-ジクロロエチレン トリクロロエチレン	浅	その他																						
										浅	その他																				
										浅	生活用																				
										浅	生活用																				
										浅	生活用																				
10	浜松市	三方原	浜松市	○	○	○	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	深	一般飲用																						
										深	生活用																				
										深	一般飲用																				
										深	その他																				
										深	一般飲用																				
										深	一般飲用																				
11	沼津市	大岡	沼津市	○	○	○	1,1-ジクロロエチレン 1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン	浅	生活用																						
										不明	生活用																				
12	沼津市	沼津駅周辺	沼津市	○	○	○	1,1,1-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン	浅	生活用																						
										浅	生活用																				
										浅	生活用																				
13	沼津市	下音貫	沼津市	○	○	○	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	不明	生活用																						
										不明	生活用																				
14	沼津市	足高	沼津市	○	○	○	1,1-ジクロロエチレン 1,2-ジクロロエチレン トリクロロエチレン	深	一般飲用																						
										深	生活用																				
										深	生活用																				
										深	その他																				
15	富士市	柳島	富士市	○	○	○	1,2-ジクロロエチレン トリクロロエチレン	浅	その他																						
										浅	その他																				
16	富士市	鮫島	富士市	○	○	○	1,1-ジクロロエチレン 1,2-ジクロロエチレン テトラクロロエチレン	浅	その他																						
										浅	その他																				
										浅	その他																				
17	富士市	中之郷	富士市	○	○	○	四塩化炭素 1,2-ジクロロエチレン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン	深	工業用																						
										深	工業用																				
										深	水道水源																				
								深	工業用																						

表IV-14 定点モニタリング調査の環境基準未達成地区数及び地点数

項 目	地区数	地点数*
砒素	5	6
トリクロロエチレン	3	6
テトラクロロエチレン	2	2
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	7	11
ふっ素	1	1
クロロエチレン・1,2-ジクロロエチレン・トリクロロエチレン	1	1
トリクロロエチレン・テトラクロロエチレン	1	2
四塩化炭素・トリクロロエチレン・テトラクロロエチレン	1	2
計	21	31

*項目のいずれかが超過した地点数

表IV-15 令和元年度定点モニタリング調査結果の環境基準達成期間の状況

基準達成期間	事例数	県モニタリング地区	政令市モニタリング地区
5年間以上	6地区	菊川市本所（VOC）6年 熱海市伊豆山（VOC）5年	静岡市七ツ新屋（VOC）9年 沼津市大岡（VOC）7年 沼津市沼津駅周辺（VOC）6年 浜松市小松（全シアン、六価クロム、VOC）5年
4年間	なし		
3年間	1地区		浜松市高塚（VOC、ふっ素、ほう素）
2年間	2地区	牧之原市静波（VOC）	沼津市下香貫（窒素*）
1年間	5地区	三島市中郷（六価クロム） 富士宮市貫戸（窒素*） 湖西市鷺津・吉美（VOC）	静岡市新川（VOC） 浜松市曳馬（VOC）
計	14地区		

*硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素